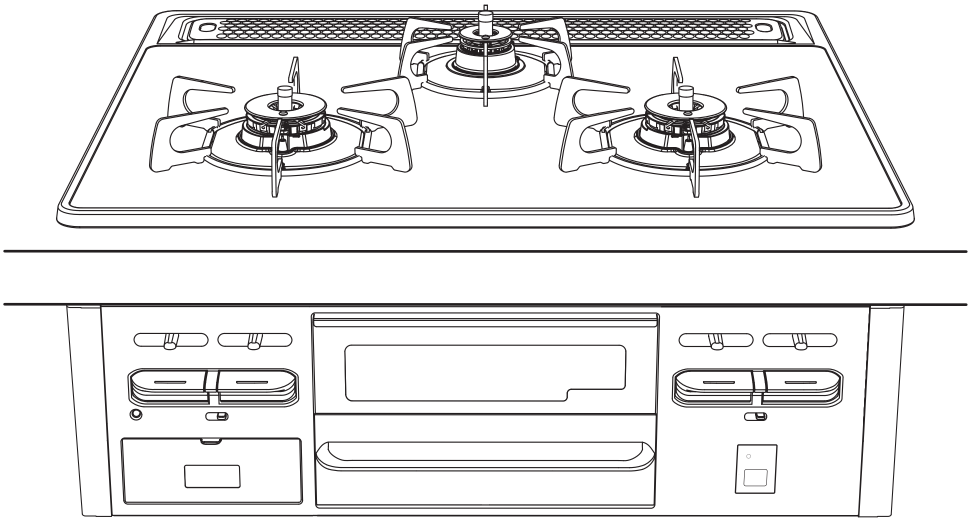
家庭用

全口センサー搭載
Siセンサーコンロ

品名コード	DG32N3VS DG32N3VSSV	DG32N3SSR DG32N3SSSVR
型式名	DG32N3V	DG32N3SR

ガスビルトインコンロ
取扱説明書 保証書付



このたびは、ハーマンのガスビルトインコンロをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
○この取扱説明書の46ページが保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
○この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと、著しく寿命が短くなります。
○この機器は国内専用です。海外では使用できません。
○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

Harman
36519010
Tア90-01

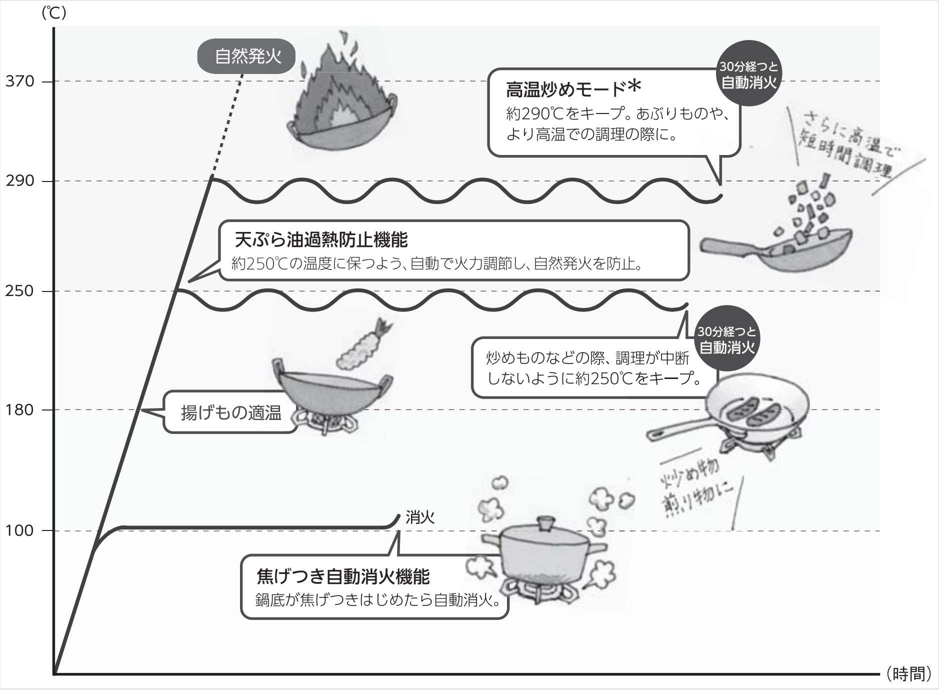
Siセンサーコンロについて

全口センサー搭載
Siセンサーコンロ

安心（Safety）、便利（Support）、笑顔（Smile）を約束する、
賢い（Intelligent）センサーを搭載した、進化したコンロです。

◎風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます！	**立消え安全装置**
◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します！	**消し忘れ消火機能**
◎天ぷら油の過熱を未然に防止します！	**調理油過熱防止装置** （天ぷら油過熱防止機能）
◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で検知し、自動消火します！	**焦げつき自動消火機能**

●温度センサーのはたらき



＊高温炒めモードとは

・通常時より高い温度まで調理できる機能です。（右コンロ）
　高温炒めモードを使用しても、異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
※高温炒めモードを使用すると、天ぷら油過熱防止機能、焦げつき自動消火機能は作動しません。

とくに多いご質問です

・点火／消火ボタンを押しても、点火しない
・電池交換サインが点滅している

乾電池が消耗しているためです。
新品のアルカリ乾電池（単1形：2個）と交換してください。

乾電池を交換する（電池交換サイン点滅）めやすは約1年です。

☞ 16

・ブザー音がする

安心・安全機能がはたらいているためです。

安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、点火／消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回）でお知らせします。
戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず「消火の状態」に戻してください。
※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。

☞ 15

・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいているためです。

自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。
※弱火になると支障のある調理の場合は、高温炒めキーを押すと、高温での調理ができます。

☞ 14

・高温炒めモードを使用しているのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいているためです。

鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
また、約60分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。

☞ 21

※☞ □ 内の数字は、参照ページを示しています。

もくじ

各部のなまえ ···················· 3

安全なご利用のために

必ずお守りください（安全上の注意）··· 5

このコンロについて

安心・安全機能 ···················· 14

使いかた

乾電池を交換する ················ 16
コンロを使う準備 ················ 17
コンロの使いかた（基本操作）········ 19
高温炒めモード（右コンロ）·········· 21
グリルを使う準備 ················ 23
グリルの使いかた ················ 25

長くご利用いただくために

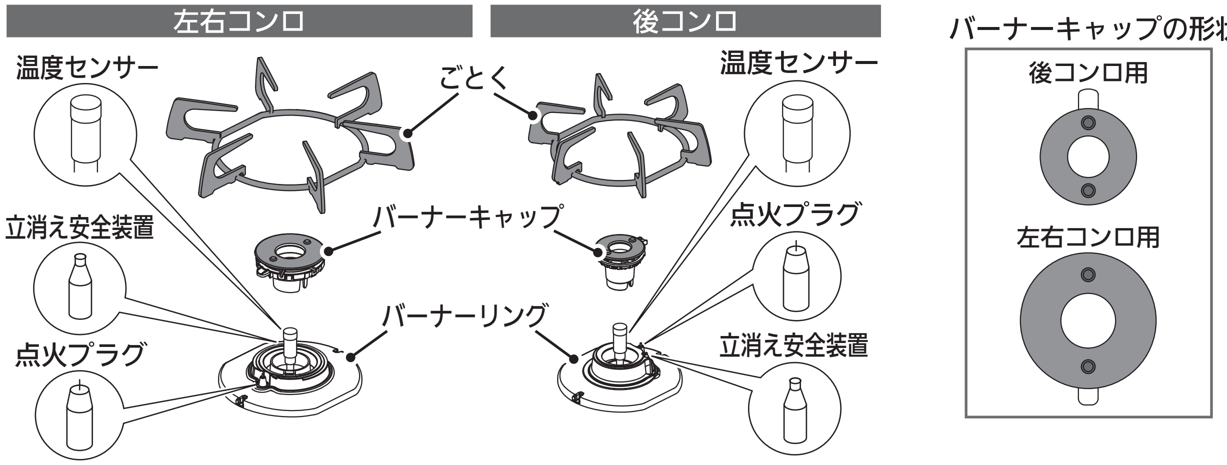
お手入れ ························ 27
よくあるご質問 ·················· 33
ブザー報知、お知らせ表示 ········ 39
長期間使用しない場合、仕様 ······ 41
アフターサービス、別売部品 ······ 42
交換部品（消耗品）················ 43
保証書 ·························· 46

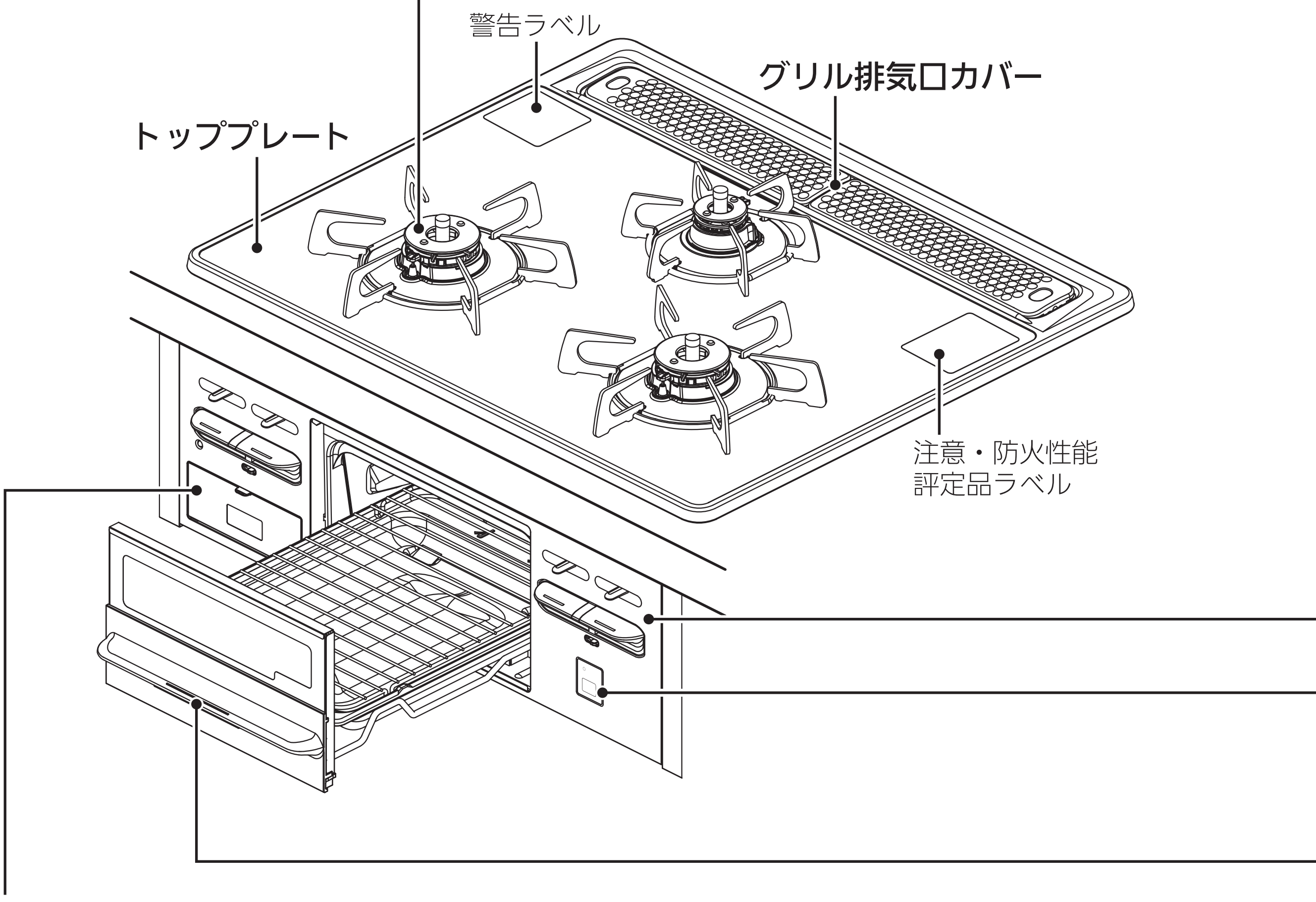
各部のなまえ

※操作部に保護シートが貼ってある場合があります。ご使用の際には、取り外してください。

コンロ部

※取り付け方法については、「お手入れ」（29ページ）を参照してください。

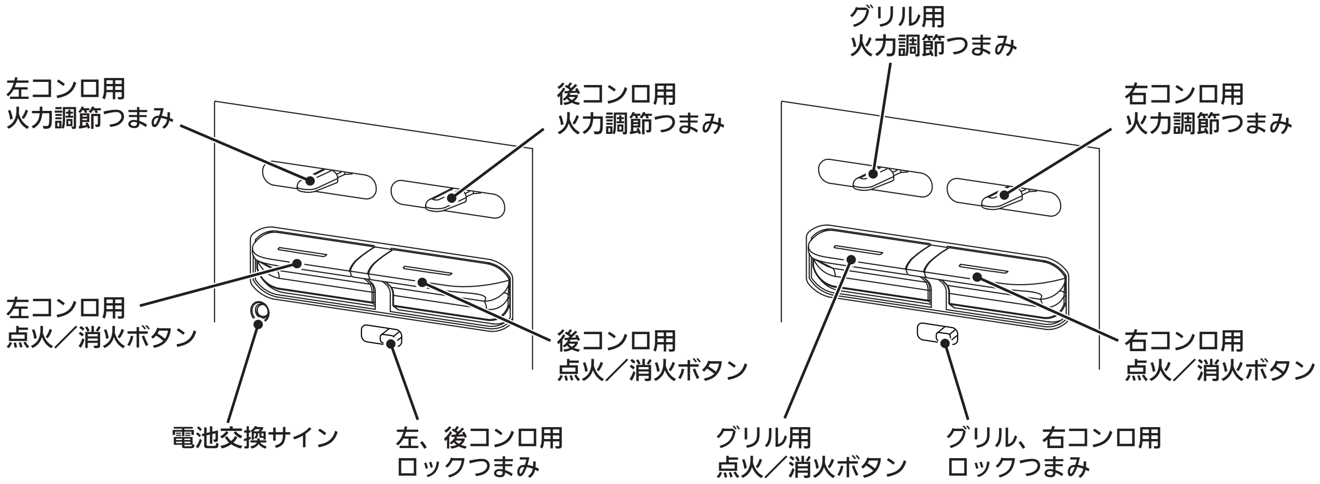




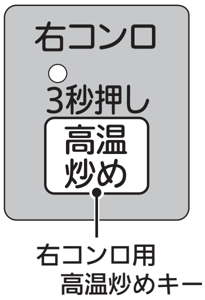
電池収納部

※乾電池の交換方法については、「乾電池を交換する」（16ページ）を参照してください。

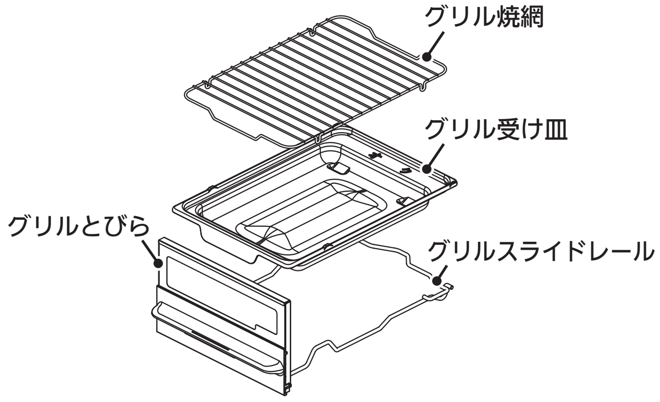
左・右操作部（パネル）



コンロ操作部（シート）



グリル部



必ずお守りください（安全上の注意）①

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分、表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害、損害の程度による内容の区分

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意、禁止内容の絵表示

必ず守る	換気する	禁止	火気禁止
分解禁止	接触禁止		

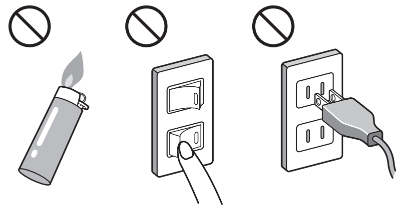
ガス漏れに気づいたときは

⚠危険

火気禁止

- **絶対に火をつけない**
- **電気器具（換気扇など）のスイッチの入／切をしない**
- **電源プラグの抜き差しをしない**
- **周辺で電話を使用しない**

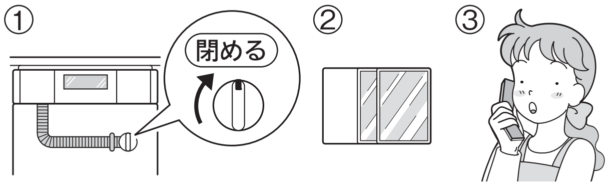
火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



必ず守る

- **すぐに使用をやめる**

①火を消し、ガス栓を閉める。
②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
③お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。



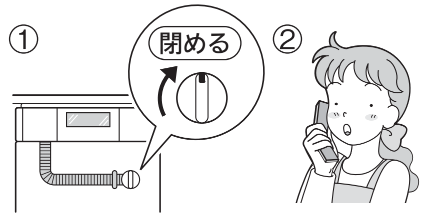
異常時

⚠警告

必ず守る

- **点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音などを感じたときは、すぐに使用をやめる**

①火を消し、ガス栓を閉める。
②よくあるご質問（33ページ）に従い、処置をする。
③上記の処置をしても、なおらない場合は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。



必ず守る

- **地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓を閉める**

使用時や使用後は

⚠警告

必ず守る

・点火、消火のあとは、必ず炎を確かめる

火災や思わぬ事故の原因になります。

※また使用後は、ガス栓を閉めてください。

⚠注意

必ず守る

・使用するバーナーの点火／消火ボタンを確認してから点火操作をする

間違って操作すると、別のバーナーが点火して、火災や思わぬ事故の原因になります。

必ず守る

・点火操作をしても点火しない場合は、点火／消火ボタンを「消火の状態」にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する

すぐに点火操作をすると、周囲のガスに引火して衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

機器周辺には

⚠警告

禁止

・引火のおそれのあるものや燃えやすいものを機器の近くで使用したり、置いたりしない

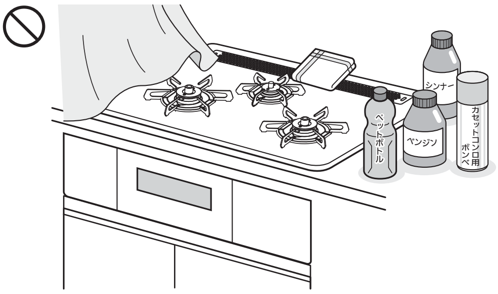
・引火のおそれのあるもの

スプレー、ガソリン、ベンジン、
カセットコンロ用ボンベなど

・燃えやすいもの

ペットボトル、プラスチック類、ふきん、タオル、
カーテン、調理油、新聞紙、ビニールシートなど

火災の原因や、熱でスプレー缶の圧力が上がり、
スプレー缶が爆発する原因になります。

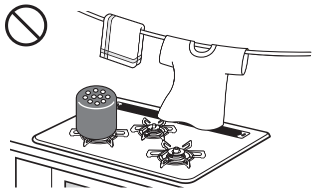


⚠警告

禁止

・調理以外の用途には使用しない

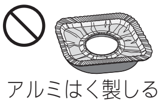
練炭の火起こしや衣類（ふきんなど）の乾燥などに使用しないでください。過熱、異常燃焼による機器焼損、火災の原因になります。



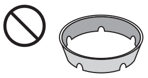
禁止

・アルミはく製しる受け、省エネごとくなどの補助具は使用しない

一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。



アルミはく製しる受け

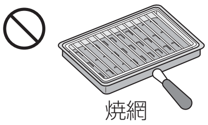


省エネごとく

禁止

・焼網は使用しない

トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。

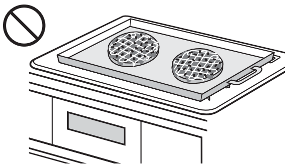


焼網

禁止

・コンロをおおうような、大きな鉄板や鍋は使用しない

不完全燃焼をおこしたり、機器の異常過熱のおそれがあります。



⚠注意

禁止

・グリルとびら、左操作部、右操作部、コンロ操作部、電池収納部などに、重いものをのせたり強い力を加えない

けがや機器損傷の原因になります。

必ずお守りください（安全上の注意）②

使用中は

⚠警告　禁止

- **火を着けたまま離れない**
- **火を着けたまま就寝や外出は絶対にしない**

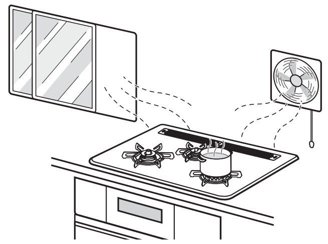
調理中のものが焦げたり燃えたりするなど、火災の原因になります。
※とくに天ぷらや揚げもの調理、グリルを使用しているときは注意してください。
　電話や来客の場合は、一旦火を消してください。

⚠注意

換気する

- **必ず換気をする**

窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。
換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。
※屋内設置（密閉式は除く）の給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

- **点火操作時や使用中は、バーナーとグリル排気口付近に顔や手などを近付けない**
- **グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない**

炎や熱で顔や手などに、やけどをするおそれがあります。

接触禁止

- **使用中や使用直後は操作部以外は触らない**

機器本体とその周辺および調理用具が熱くなっています。
とくに小さなお子さまがいる家庭ではやけどに注意してください。
※グリルのみを使用してもグリルバーナーの炎や排気の熱により、トッププレートは熱くなります。
　また、ビルトインオーブンを設置している場合、コンロやグリルを使用していなくてもオーブンを使用すると、トッププレートや排気口カバーが熱くなります。1カ所のみのコンロを使用している場合でも、使用していないコンロ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。

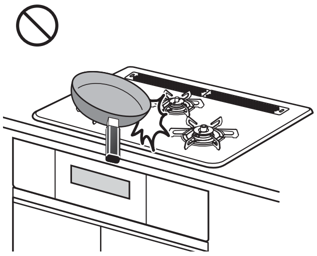
コンロ編

トッププレートについて

⚠警告　禁止

- **衝撃や荷重を加えない**
- **上にのらない**

トッププレートが変形、破損して、異常過熱や火災の原因になります。
※破損したときは、けがの原因にもなりますので、程度の大小に関係なく、すぐに修理を依頼してください。



使用中は

⚠警告　必ず守る

- **コンロ使用中は、身体や衣服が炎に近付かないように注意する**

衣服に炎が移って、やけどをするおそれがあります。
また、温度センサーが作動して炎が自動的に大きくなったり、風で炎があおられて鍋底からあふれ、衣服に移ることがありますので注意してください。

⚠注意

必ず守る

- **エアコン、扇風機の風などがコンロの炎にあたらないように配慮して使用する**

風があたると温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できず、炎が途中で消えたり機器損傷の原因になります。

必ず守る

- **やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する**

はみ出した炎により、やかんや鍋の取っ手などが過熱され、やけどや取っ手などの焼損の原因になります。

コンロ編

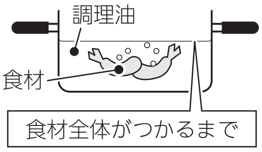
揚げもの調理の際は

⚠警告

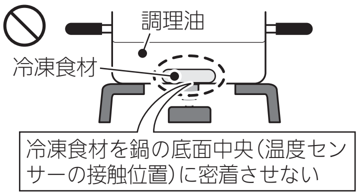
禁止 ・**高温炒めモードで揚げもの調理をしない**
調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。

禁止 ・**耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理をしない**
天ぷら油過熱防止機能が作動せず、調理油が発火するおそれがあります。

必ず守る ・**揚げものは食材全体が十分につかるまで調理油（必ず200mL以上）を入れて行う**
調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。
とくに、フライパンなどの底が広い鍋で揚げものをする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと、発火するおそれがあります。



禁止 ・**冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない**
鍋の底面中央（温度センサーの接触位置）に冷凍食材が密着した状態で揚げもの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。
食材は中央部を避けて置いてください。



禁止 ・**複数回使った調理油で揚げものをしない**
何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。発火が起こりやすくなる場合があります。

禁止 ・**揚げすぎない**
豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは、とくに注意してください。揚げすぎると油が飛び散り、発火や、やけどのおそれがあります。

⚠警告

禁止 ・**調理油の廃油凝固剤使用時に油を加熱するときは、絶対に機器から離れない**
廃油凝固剤の分量を守り、油の温度が上がりすぎないように注意し、溶けたらすぐに消火してください。廃油凝固剤を入れすぎたり、加熱しすぎると、発火するおそれがあります。

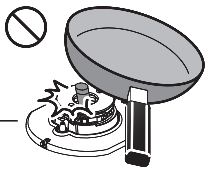
温度センサーは

⚠警告

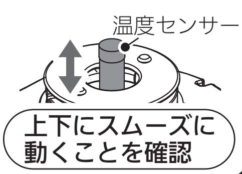
禁止 ・**絶対に取り外さない**
火災の原因になります。

⚠注意

禁止 ・**強いショックを加えたり、キズをつけない**
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、温度センサーが故障すると安心・安全機能が作動しない場合があります。



必ず守る ・**こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する**
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。密着しない場合、点検、修理を依頼してください。



必ずお守りください（安全上の注意）③

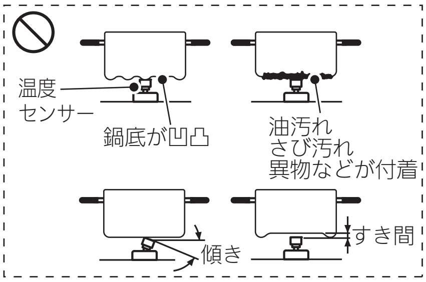
コンロ編

鍋などについて

⚠警告

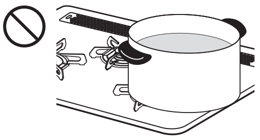
禁止

- **温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない**
- **鍋底やフライパンの底などに異物や著しい汚れ、焦げなどが付着したまま使用しない**
  - 温度センサーが鍋底やフライパンの底などの温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
  - 鍋の重さは、調理物を含め300g以上必要です。とくに片手鍋は調理物の重さが軽くなると温度センサーの力により、鍋やフライパンなどが押し上げられて傾いたり、ずれ落ちる場合がありますので、取っ手を持って安定した状態で使用してください。



禁止

- **鍋などが、トッププレートからはみ出した状態では使用しない**
  火災や機器焼損の原因になります。



⚠注意

禁止

- **石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理用具は使用しない**
  異常過熱による機器損傷の原因になります。

禁止

- **片手鍋、底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない**
- **片手鍋などは、調理中に鍋のふたを取ったり、水分の蒸発などにより調理物の重さが軽くなると、温度センサーの力により押し上げられ、傾いたりずれ落ちる場合があるので取っ手を持って使用する**

  不安定な状態で使用すると、鍋が傾いて調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。
  - 片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をごとくのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
  - 中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手を持ちながら使用してください。

禁止

- **ごとくを外して鍋などを直接コンロに置いて使用しない**
  不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。

禁止

- **トッププレートに直接高温の鍋などをのせない**
  トッププレートの変色や損傷の原因になります。

⚠注意

必ず守る

- **小さなお子さまに触らせないように注意する**
  思わぬ事故の原因になります。
  お子さまが触れても点火しないよう、ロック機能を設定することができます。（18ページ）

グリル編

グリルについて

⚠警告

禁止

- **グリル排気口の上に、ふきんやタオルなどをのせたり、ふさがない**
- **グリル排気口の周りには、ものを置かない**

火災や不完全燃焼の原因になります。

必ず守る

- **グリル使用前はグリル庫内を点検する**

グリル庫内に食品くずやふきんなどがあると、使用中に燃えることがあります。
また、グリルとびらに魚などをはさみこんだまま使用しないでください。

⚠注意

禁止

- **グリルとびらガラスに衝撃を加えたり(グリルとびらの落下も含む)キズをつけたりしない**
- **使用中や使用直後に水をかけない**

グリルとびらガラスが割れて、やけどやけがの原因になります。

禁止

- **グリル使用中や使用直後は、グリルとびら取っ手以外は触らない**
- **グリル受け皿を持つときは、ぬれぶきんなどで持たない**

やけどの原因になります。

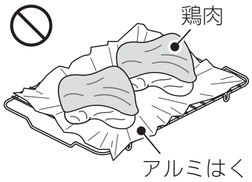
グリル使用時について

⚠警告

禁止

- **脂が出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない**

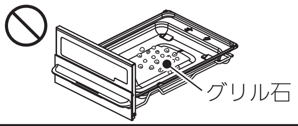
アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。
※鶏肉や脂がのったさんまなどは、脂が多く出ます。
また、グリルバーナーの炎口がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。



禁止

- **グリル受け皿にグリル石やグリルシートなどを入れない**

たまった脂が過熱され、火災の原因になります。



⚠注意

禁止

- **グリル受け皿に水を入れて使用しない**

この機器はグリル受け皿に水を入れる必要がないタイプです。水を入れないでください。
グリル機能が正しくはたらかなかったり、調理物が燃えるなどの原因になります。
また、お湯がこぼれてやけどの原因にもなります。

禁止

- **グリルを使用するときは、グリル排気口に手や顔などを近付けない**
- **鍋の取っ手などがグリル排気口にかからないようにする**

高温の排気が出て、やけどや鍋の取っ手などの焼損の原因になります。

禁止

- **グリルとびらを開けたままグリルを使用しない**

ワークトップ(キッチンの天板)を焦がしたり、機器上部が異常に過熱され、やけどをする原因になります。

必ずお守りください（安全上の注意）④

グリル編

グリル使用中は

⚠注意

禁止
・**魚などを焼きすぎない**
魚などに火がつき、グリル排気口から炎が出ることがあり、火災の原因になります。

必ず守る
・**異なる調理物（焼き上げの早い調理物、遅い調理物）を、同時に焼くときは注意する**
焦げたり、発火するおそれがあります。

必ず守る
・**鶏肉やさんまなどの脂の多い食材を焼くときは注意する**
飛び散った脂に引火して、瞬間的にグリル排気口から炎が出る場合があります。
やけどや火災などの原因になります。

必ず守る
・**調理物が発火した場合は、すぐに使用をやめる**
①点火／消火ボタンを押し、消火する。
②炎が消えるまでグリルとびらを開けない。
③消火後、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者（供給業者）に点検を依頼する。

グリル使用後は

⚠警告

必ず守る
・**グリル使用後および連続使用するときは、グリル受け皿にたまった脂、グリル焼網についた食材は、ご使用の都度取り除く**
たまった脂に火がついて火災のおそれがあります。

⚠注意

必ず守る
・**使用直後の魚などの出し入れは、グリルとびらやグリル受け皿、グリル焼網を機器から取り外さずに行う**
グリルとびらガラスやグリル焼網などが熱くなっており、やけどの原因になります。

必ず守る
・**グリル受け皿を持ち運びするときは、冷えてから持ち運ぶ**
使用中や使用直後は、グリル受け皿やグリル受け皿にたまった脂が高温になっており、やけどの原因になります。また、グリル受け皿にたまった脂などがこぼれないように注意してください。

お手入れ編

お手入れの際は

⚠注意

必ず守る
・**機器が十分冷えてから、手袋をして行う**
やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。

禁止
・**機器や機器周辺（キッチンの天板など）に水をかけたり、水を流しての掃除はしない また、ぬれぶきんやスポンジたわしを使用する場合もよくしぼり、水分を切ってから使用する**
機器内部に水が浸入し、点火不良、不完全燃焼、故障の原因になります。

禁止
・**トッププレートは取り外さない**
裏面でけがをする原因になります。
また、ガラス裏面に洗剤や薬剤が付着すると、変色したりキズの原因になります。

必ず守る
・**バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る**
水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

お願い

機器のご使用について

- **使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。**
- **ガス栓を閉めて火を消さないでください。**
  やけどや思わぬ事故の原因になります。
- **機器の下にオーブンを設置して使用している場合、オーブンのとびらを半開きのままで使用しないでください。**
  やけどや過熱による変形などの原因になります。
- **トッププレートの上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。**
  磁力線により、機器が故障する原因になります。
- **トッププレートのごとくを取り付けている場所に、跡が付くことがあります。**
- **トッププレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。**
  もし、はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。貼り替える場合は、トッププレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。

コンロのご使用について

- **弱火のときは炎が見えにくい場合がありますので、消し忘れに注意してください。**
- **調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してください。**
- **強火で長時間使用すると土鍋やホーロー鍋など、鍋の種類によっては、ごとくがくっつくことがあります。**
  長時間使用したあとに、鍋を動かすときは、鍋とごとくがくっついていないことを確認してください。
  ごとくがくっついた場合は、すぐに元の位置に戻し、機器が冷えてからくっついたごとくを鍋から外してください。
  くっついたまま動かすと、ごとくが落下し、やけど、けが、機器損傷の原因になります。
- **煮こぼれしたときは、その都度お手入れを行ってください。**
  バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、機器焼損の原因になります。機器の内部に煮汁が浸入すると、故障の原因になります。
- **コンロを弱火で使用している場合は、機器下のキャビネットとびらや、グリルとびらをゆっくり開閉してください。**
  開閉により発生した風で、コンロの火が消える場合があります。

突沸現象について

- **みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜてください。**
  強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。（とくにだし入り豆みそ（赤みそなど）に注意してください。）

> 突沸現象とは、突然にふっとうする現象です。
> 水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。
> この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけがをするおそれがあります。これらの予防法として次の点にご注意ください。
> - **カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁ものの温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。（強火で急に加熱しない。）**
> - **熱々の汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。**
> - **鍋の大きさにあった火力で加熱する。**

必ずお守りください（安全上の注意）⑤

設置編

⚠警告

必ず守る
- **機器の設置、移動、取り外しの際は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者（供給業者）に依頼する**
  ガス配管接続には専門の資格、技術が必要です。

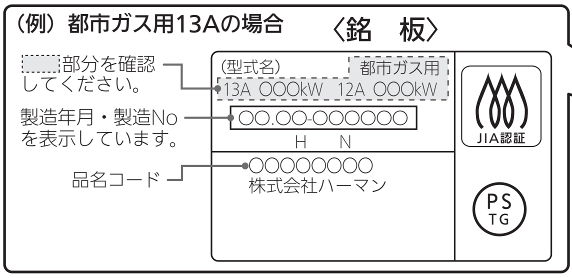
分解禁止
- **絶対に改造、分解は行わない**
  改造、分解は、<u>不完全燃焼による一酸化炭素中毒となるおそれがあります。</u>
  また、<u>火災の原因になります。</u>

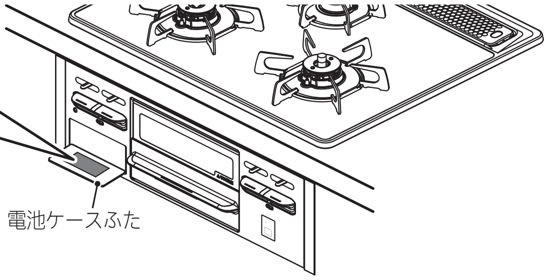
⚠注意

禁止
- **ワークトップ（キッチンの天板）の前面部と機器の間を化粧板などで閉塞しない**
  <u>不完全燃焼の原因になります。</u>

⚠警告

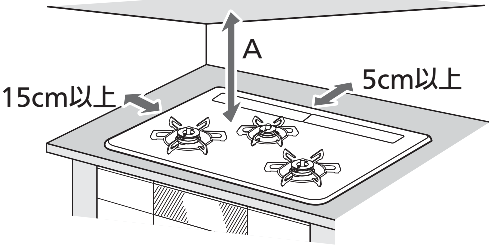
必ず守る
- **銘板に表示しているガス（ガスグループ）で使用する**
- **転居時は、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する**
  表示以外のガスで使用すると、<u>不完全燃焼による一酸化炭素中毒、異常点火や機器が故障する原因になります。</u>
  供給ガスがわからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者（供給業者）にお問い合わせください。





⚠警告

必ず守る
- **可燃性の部分（棚、壁、家具など）から十分離して設置する**
  当該地区の市、町、村の条例で定められています。
  可燃性の壁との離隔距離を下図のように取れない場合は、必ず別売の防熱板を取り付ける。
  ※表面がステンレスやタイルでも壁の内側がベニヤ板などの場合があります。確認できない場合は、防熱板が必要です。
  ※防熱板の購入は、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。



A寸法：**《可燃物の壁》**：80cm以上
　　　　《不燃材やレンジフード》：60cm以上

必ず守る
- **機器周囲の改装をする場合（吊り戸棚を付けるなど）も、可燃物との離隔距離を確実に離す**
  <u>火災の原因になります。</u>

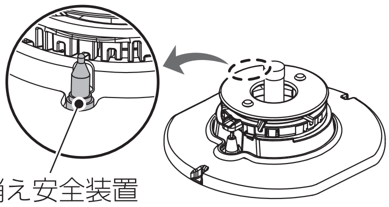
安心・安全機能①

◎風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます。

立消え安全装置　(コンロ)(グリル)

火が消えてから数秒後にガスを完全に止めます。
※再度点火するときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが
　完全になくなってから点火してください。

後方から見た図



◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します。

コンロ消し忘れ消火機能　(コンロ)

点火後、約120分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると自動消火します。
※右コンロは高温炒めモード使用時、約60分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使
　用すると自動消火します。

グリル消し忘れ消火機能　(グリル)

連続使用可能時間は約25分です。点火後、最長で約25分連続使用すると自動消火します。

◎天ぷら油の過熱を未然に防止します。

天ぷら油過熱防止機能　(コンロ)

左右コンロは、油の温度を約250℃に保つよう、自動で強火と弱火を繰り返し、過熱による発火を防ぎます。
自動火力調節している状態が約30分続くと自動消火します。
※約250℃以上になる場合は、約30分を経過する前に自動消火します。
※後コンロは、約250℃で自動消火します。
※鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。
※高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。

⚠注意

必ず守る
天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

安心・安全機能②

◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で検知し、自動消火します。

焦げつき自動消火機能 （コンロ）

鍋底が焦げつきはじめたら、自動消火します。
※焦げつきの程度は、鍋の材質、火力、調理物によって異なります。
※高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。
※弱火から強火に切り替えたときに温度センサーがはたらいて自動消火することがあります。再度点火して使用してください。

◎グリル庫内が過熱すると自動消火します。

グリル過熱防止センサー （グリル）

グリル庫内やグリル受け皿の温度が異常に高い場合や、連続焼きや空焼きなどで高温になると、自動消火します。

⚠注意

必ず守る

グリル過熱防止センサーがはたらいたときは、グリルとびらガラスやグリル受け皿などの温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

◎点火／消火ボタンを戻し忘れてもブザーでお知らせします。

点火／消火ボタン戻し忘れブザー （コンロ）（グリル）

安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、点火／消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』（5回）でお知らせします。
戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず「消火の状態」に戻してください。
※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。

乾電池を交換する

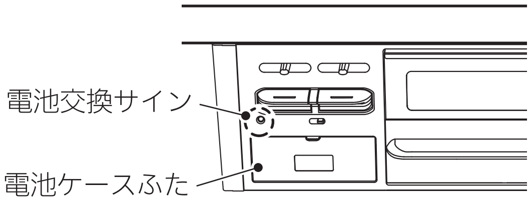
乾電池を交換するときは、必ず機器が冷えてから行ってください。

・乾電池の交換時期が近づくと電池交換サインが点滅し、最初の点火操作時はブザー音『ピー』でお知らせします。
乾電池の容量がなくなると点火できなくなりますので、新品のアルカリ乾電池（単1形：2個）と交換してください。

⚠注意

禁止

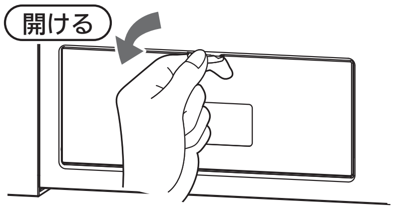
乾電池は充電、分解、加熱したり、火の中に投入しない
乾電池が破裂し、手や服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。



乾電池の入れかた

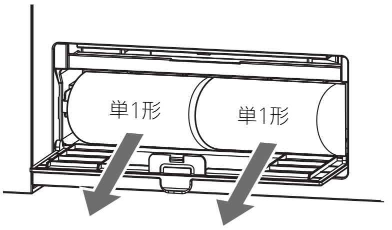
1 電池ケースふたを開ける

電池ケースふたは約90°まで開きます。
それ以上は無理に開かないでください。
ふたが破損する原因になります。



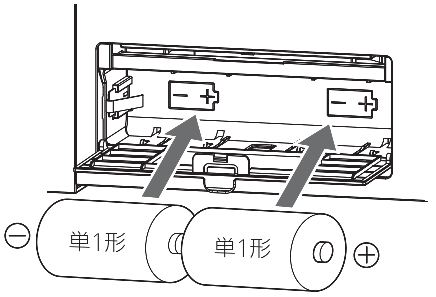
2 古い乾電池を取り出す

古い乾電池は必ず2個とも取り出す。

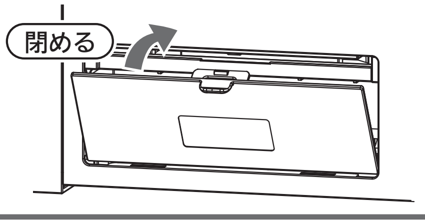


3 新しい乾電池を入れる

新しいアルカリ乾電池（単1形：2個）の ⊕⊖ を確かめ、電池ケースに入れる。



4 電池ケースふたを閉める

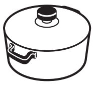
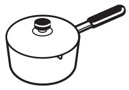
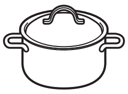
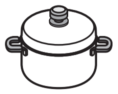
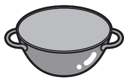
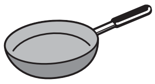
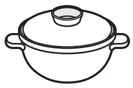
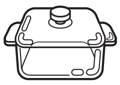
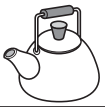


乾電池に関するお願い

・乾電池に記載してある注意事項をよく読み、正しくご使用ください。
・乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。
・乾電池が正しく組み込まれていなかったり、乾電池の容量が全くなくなった場合は、使用できません。
・乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。
アルカリ乾電池（単1形：2個）を使用した場合、乾電池を交換する（電池交換サイン点滅）めやすは約１年です。
（使用状況、使用時間、乾電池製造メーカーにより交換時期が1年以内と短くなる場合があります。
また、新しい乾電池と古い乾電池の組み合わせや種類の違う乾電池を混ぜて使用した場合、マンガン乾電池を使用した場合は、交換時期が短くなります。）
・未使用の乾電池でも「使用推奨期限（月、年）」を過ぎている場合は、自然放電により短時間で電池交換サインが点滅する場合があります。また、付属のアルカリ乾電池（単1形：2個）は、工場出荷時期により寿命が短くなっている場合があります。
・電池ケースに水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。電池機能不良の原因となります。
・単2形、単3形乾電池を単1形サイズにする電池スペーサーは、電池ケースの ⊖ 端子が接触せず、使用できない場合があります。また、使用できた場合でも、交換時期が極端に短くなります。

コンロを使う準備

モードに応じた鍋の選びかた

鍋などの種類	煮ものなど	炒めもの 揚げものなど ※3 （油の量：200mL以上）
アルミ製の鍋・文化鍋 	○	○
ホーロー鍋・ステンレス製の鍋（厚手）（鍋底厚み2mm以上） 	○	○
ステンレス製の鍋（薄手）（鍋底厚み2mm未満） 	○ ※1	×
ステンレス製の無水鍋・ステンレス製の多層鍋 	○ ※2	○
鉄製の鍋・中華鍋・フライパン  	○	○
土鍋・圧力鍋・耐熱ガラス容器  	○ ※2	×
やかん 	−	−

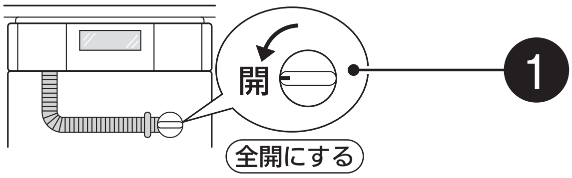
○：適しています。　×：適していません。（温度を正しく検知しない場合があります。）

※1：焦げつきがきつくなります。
※2：途中消火したり、焦げつく場合があります。
　　右コンロは高温炒めモード（21ページ）にすると途中消火せず使用できます。
　　ただし、焦げつき自動消火機能がはたらかないため注意してください。
※3：揚げものの場合の油の量を示します。

中華鍋を使うときのお願い

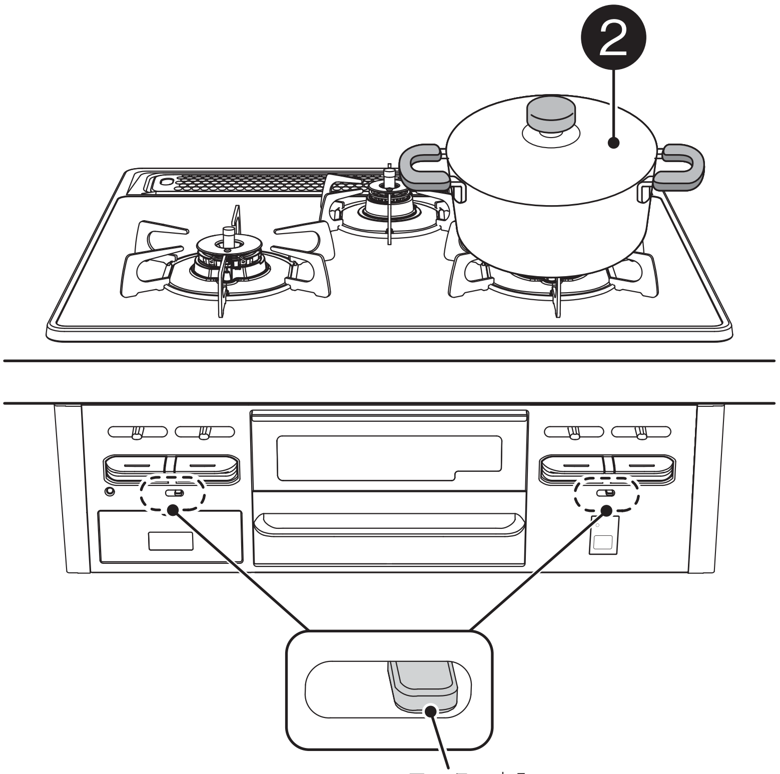
- 鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- 中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらきません。
- 必ず取っ手を持って調理してください。

❶ ガス栓を全開にする



❷ ごとく中央に鍋やフライパンなどを置く

・点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。

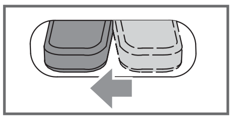


ロック機能について

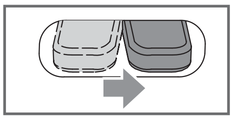
小さなお子さまのいたずらや誤操作を防止するために、点火／消火ボタンをロックすることができます。

・点火／消火ボタンが「消火の状態」のときにロックつまみを動かすことができます。
※ロックつまみを左にするとロックの設定ができます。
　ロックつまみを右にするとロックの解除ができます。

◎ロックの設定

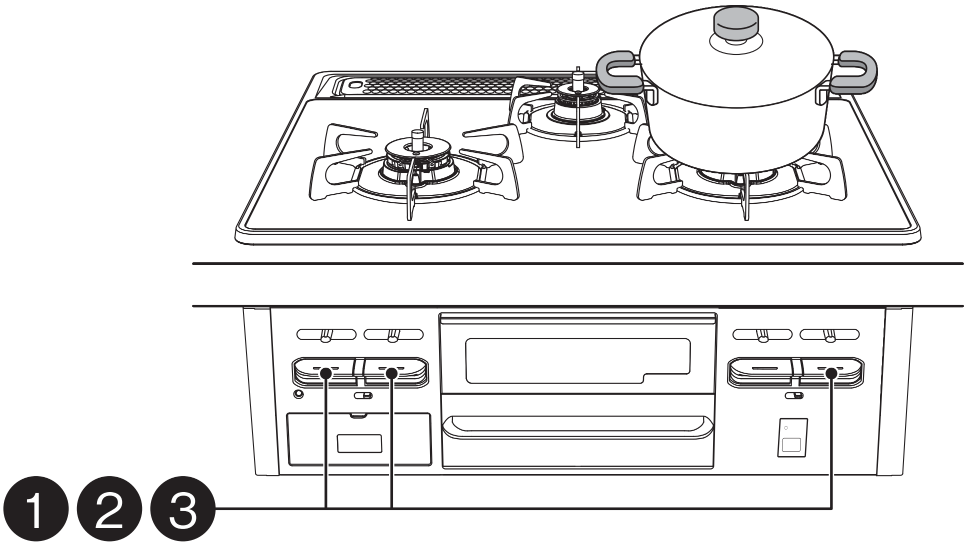


◎ロックの解除



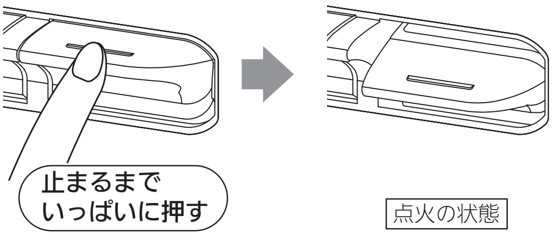
コンロの使いかた（基本操作）

『コンロを使う準備』（17ページ）
をよく読み、準備をする



❶ 点火する

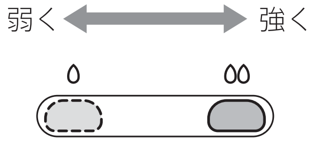
○点火／消火ボタンを止まるまでいっぱいに押し、「点火の状態」にしてください。



※火力調節つまみが弱火側（左側）にある場合、つまみは強火側（右側）に動きます。
左右コンロの場合は安全のため、火力調節つまみが強火側（右側）にある場合、つまみは中火位置（中央）に動き、中火点火します。

❷ 火力調節する

○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



※点火後、約30分毎にブザー音『ピピピッ』で使用中であることをお知らせします。

調理をするときのコツ

炒めもの（野菜炒めなど）、焼きもの（目玉焼き、ハンバーグなど）をする場合は、1分程度予熱する。

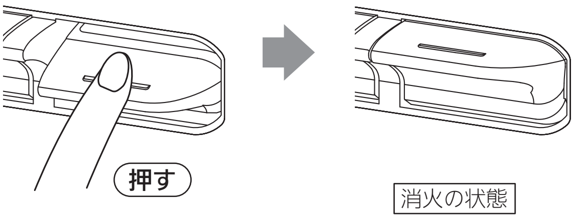
※予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安心・安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。

きんぴらごぼう、焼きそばなどは、高温炒めモードで調理する。（21ページ）

※水分が蒸発しても加熱を続ける料理の場合、焦げつき自動消火機能がはたらき、消火することがあります。

③ 消火する

○点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意していただきたいこと

自動消火した場合、点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。

必ず「消火の状態」に戻してください。（15ページ）

ご注意していただきたいこと

鍋などをごとくにのせた状態で、激しく動かさないでください。

トッププレートにキズがつくおそれがあります。

お願い

みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜてください。

強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。

（とくにだし入り豆みそ（赤みそなど）のときは注意してください。）

※突沸現象については、12ページを参照してください。

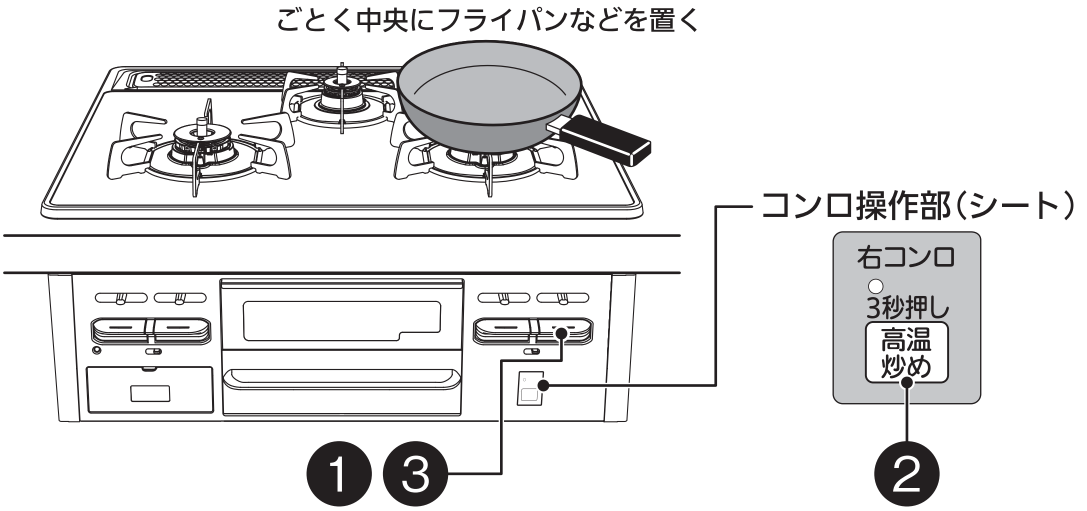
お知らせ

約120分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

高温炒めモード（右コンロ）

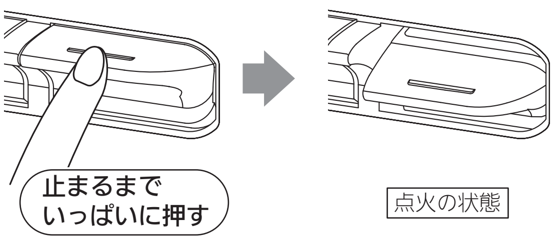
・直火調理（あぶりもの）、いりもの、炒めもの（鍋をひんぱんに上げる料理）をする場合などは、高温炒めモードをお使いください。
※海苔やスルメなどの直火調理（あぶりもの）をする場合は、点火後に高温炒めを設定して、あぶってください。

『コンロを使う準備』（17ページ）をよく読み、準備をする

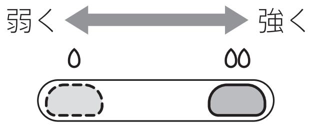


1 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを止まるまでいっぱいに押し、「点火の状態」にしてください。

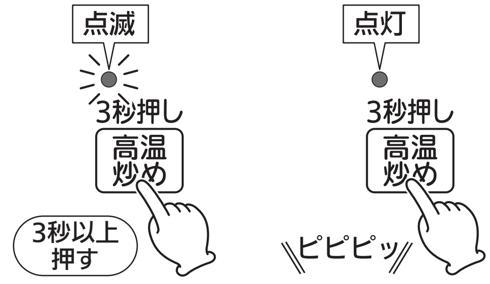


○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。

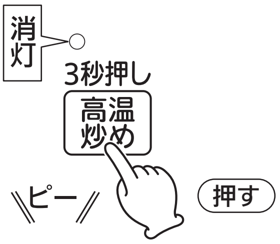


2 高温炒めを設定する

○高温炒めキーを3秒以上押してください。



○取り消すときは、再度、高温炒めキーを押してください。



※設定を解除しても消火しません。

高温炒めモードとは

通常時より高い温度まで調理できる機能です。高温炒めモードを使用しても、鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
※高温炒めモードを使用すると、天ぷら油過熱防止機能、焦げつき自動消火機能は作動しません。

⚠警告

禁止

高温炒めモードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
天ぷら油過熱防止機能が作動せず、調理油が発火し、火災の原因になります。

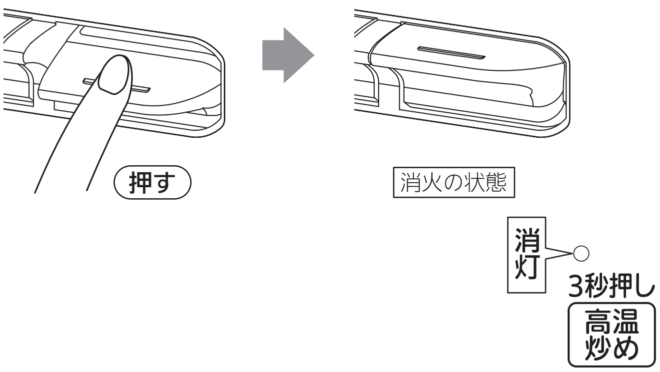
⚠注意

必ず守る

直火調理（あぶりもの）をする場合は、温度センサーの真上を避ける
温度センサー上に焼き汁などが滴下しないよう、温度センサーの真上は避けて調理してください。
温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサーの故障の原因になります。

③ 消火する

○点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意していただきたいこと

自動消火した場合、点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず「消火の状態」に戻してください。（15ページ）

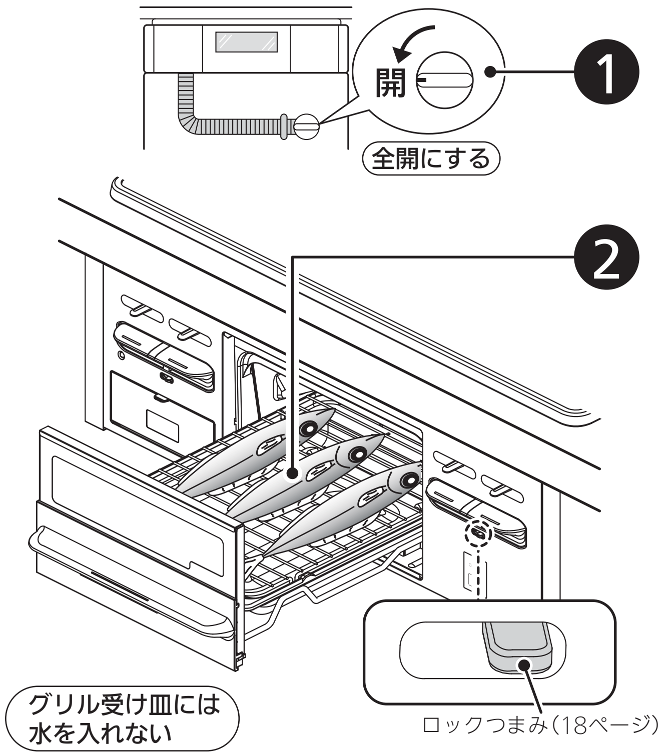
お知らせ

約60分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※使用中に高温炒めモードを解除して、さらに使用する場合は、はじめに点火してから約120分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）経過すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

グリルを使う準備

❶ ガス栓を全開にする

❷ 調理物を入れて、
グリルとびらを閉める



⚠注意

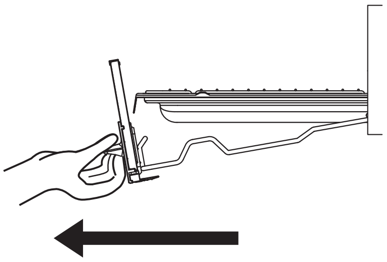
禁止

グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない

炎や熱で顔や手などに、やけどをするおそれがあります。

グリルの取り出しかた

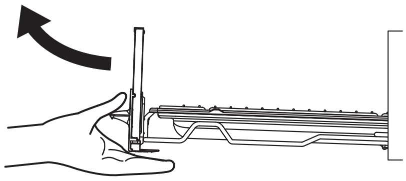
❶ グリルとびらをゆっくりと止まるところまでいっぱいに引き出す。(グリルとびらだけが下がります。)



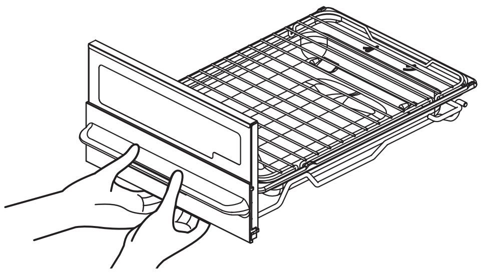
お知らせ

・グリル焼網、グリル受け皿、グリルとびらの取り外しかたは、30ページを参照してください。

❷ グリルを持ち上げて取り出す。



❸ グリルとびらを両手でしっかりと持ち、ゆっくりと持ち運ぶ。



はじめてグリルを使うとき

・梱包部材が入っていないか確認してください。
・グリル庫内の金属部品に残った加工油を焼き切るため、グリル焼網を取り出し、グリルとびらを閉め、強火で約8分空焼きしてください。煙やにおいが出る場合がありますが、異常ではありません。
空焼きしているときに、グリル過熱防止センサーが作動し、自動消火する場合があります。
消火した場合は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。

⚠注意

必ず守る

グリル焼網の取り付けをするときは、グリルが冷えてから行う

やけどのおそれがあります。

食材の準備

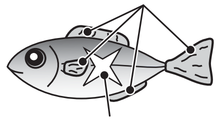
魚の下ごしらえ
・冷凍の魚はしっかりと解凍する。
・冷蔵の魚は常温でしばらくおく。
※しっかりと解凍して、常温にしておかないと、調理時間がかかり、生焼けになったり、安心・安全機能がはたらく場合があります。
・生魚は、水洗いしたあと、水気をよくふき取る。
・みそ漬けや、かす漬けの魚は、みそやかすをよくふき取る。

魚以外の下ごしらえ
・なすや、ししとうなどの野菜は、表面に切り目を入れる。

・鶏肉など、脂の多い食材は、フォークなどで皮に穴を開け、皮を上にして焼く。
※切り目や穴を開けずに焼いた場合、食材に火がついて、庫内で発火するおそれがあります。

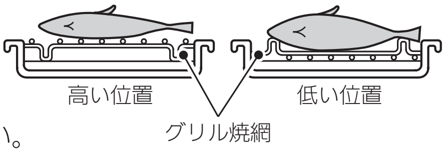
塩焼きの下ごしらえ
材料にあった塩加減（魚の重量の2%程度）が必要です。塩をつけると、身がしまって身崩れしにくくなります。身の厚いところには厚く、薄いところには薄くつけます。
・さばやいわしなど脂肪分の多い背の青い魚は、多めに塩をして、おき時間は長めにする。
・白身魚は、少なめに塩をして、おき時間は短めにする。
・川魚や、いか、えび、貝などは、焼く直前に塩をふる。

姿焼きなどの場合
・尾やヒレはとくに焦げやすいので、多めに塩をつけたり、アルミはくで包む。
・切り目を入れる。
※切り目を入れると、火の通りがよくなり、皮が破れることによる脂の飛び散りも少なくすることができます。



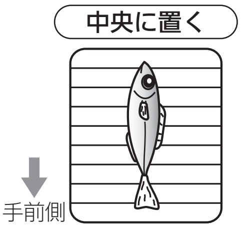
魚を焼くときは

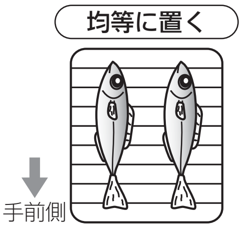
・グリル焼網は裏返すことで高さを変えることができます。
あじ（約150g）や、干し物などの薄手の魚を焼くときは、グリル焼網を高くして使用してください。
焦げつきやすいものや厚みのあるものは、低い位置で使用してください。



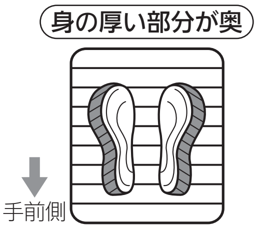
姿焼きの場合
・魚は頭が奥に、尾が手前になるように置くと尾の焦げは少なくなります。

姿焼き1尾の場合	姿焼き2尾以上の場合

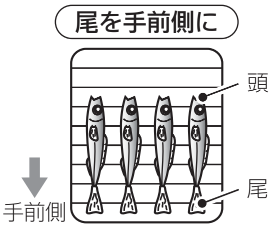




切身の場合
・皮側を上向きにし、身の厚い部分が奥になるように置いてください。



ししゃもなどの小さな魚の場合
・尾が焦げやすいので、グリル焼網の手前側に置いてください。



お知らせ

・グリル焼網、グリル受け皿は、消耗部品です。
ご使用状態や経年変化などにより、魚や脂汚れがとれにくくなる場合があります。
交換部品（消耗品）＜有料＞として準備しております。（43ページ）
お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。

⚠警告

禁止

グリル排気口の上に、ふきんやタオルなどをのせたり、ふさがない
グリル排気口の周りには、ものを置かない
火災や不完全燃焼の原因になります。

禁止

脂が出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。
※鶏肉や脂がのったさんまなどは、脂が多く出ます。また、グリルバーナーの炎口がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。

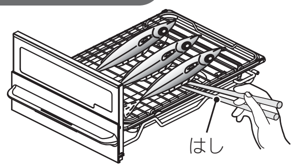
⚠注意

禁止

調理物を取るときなどは、必ず消火し、グリル部周辺に触れない
とくにグリルとびらなどが熱くなっており、やけどの原因になります。

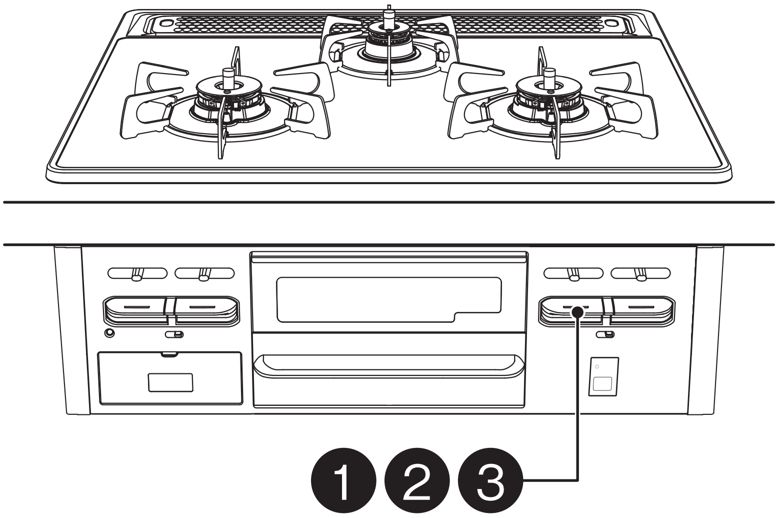
魚を取るときのコツ

・はしをグリル焼網と平行に入れると、グリル焼網に付着した魚がはがしやすくなります。



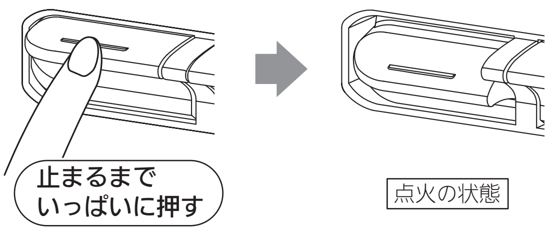
グリルの使いかた

『グリルを使う準備』(23ページ)
をよく読み、準備をする



1 点火する

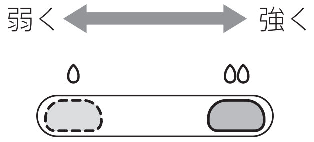
○点火／消火ボタンを止まるまでいっぱいに押し、「点火の状態」にしてください。



※火力調節つまみが弱火側（左側）にある場合、つまみは強火側（右側）に動きます。

2 火力調節する

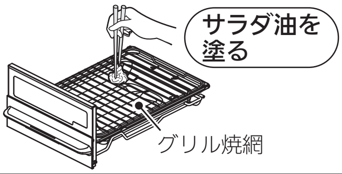
○火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせてください。



※ブザー音『ピピピッ』で使用中であることをお知らせします。（グリル庫内温度が低いときは、ブザー音が鳴らない場合があります。）
※グリル庫内温度が高いときには、ブザー音『ピーピーピー』でお知らせしますので、魚の焼きすぎなどに注意してください。

形くずれを防止するコツ

3分程度予熱後、一旦消火してから、グリル焼網にサラダ油を塗ってください。
その後、魚をグリル焼網にのせて再度点火し、火力を調節してください。
焦げやすいもの(つけ焼き、照り焼き、みそ漬けなど)や身の厚い魚などは、予熱しないでそのまま焼いてください。



ご注意していただきたいこと

・連続の使用などでグリル庫内が高温になると、安全のため消火します。
グリル過熱防止センサーがはたらいて消火した場合は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。
・脂の多い魚を焼いているときは、煙が多く出る場合があります。

次の魚は、とくに焼きすぎに注意してください。

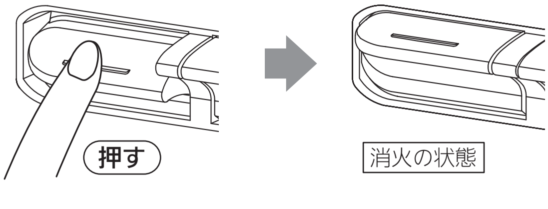
・干物や、脂分の多い魚(にしん、塩さばなど)
発火しやすいので、調理中はグリル庫内の状態に十分注意してください。

・小魚の干物(めざし、うるめいわしなど)
焼き時間のめやすは両面合わせて3〜6分です。(グリル庫内の温度が高い場合は2〜5分程度。)

焼きすぎた場合、魚やたまった脂が燃えて、火災のおそれや機器焼損の原因になります。

③ 点火/消火ボタンを戻す

○点火／消火ボタンを押し、「消火の状態」にしてください。



ご注意していただきたいこと

自動消火した場合、点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。
必ず「消火の状態」に戻してください。(15ページ)

⚠警告

必ず守る

鶏肉などの脂の多い食材を調理するときは、火力を『弱火』にして焼くようにする
グリル受け皿にたまった脂に引火し、火災のおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

焼きすぎに注意する
魚に火がつき火災の原因になります。
グリル庫内で魚などが燃えたり、たまった脂に引火した場合は、すぐに点火／消火ボタンを押して消火してください。

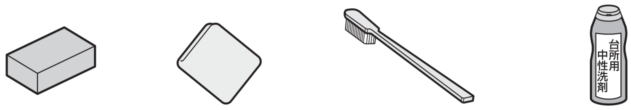
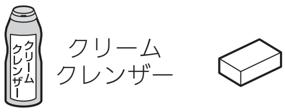
お手入れ（その前に）

⚠注意

必ず守る

- **お手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷えてから手袋をはめて行う**
  とくにグリル排気口の内側（奥側）、グリル庫内をお手入れするときは、十分注意する
  やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。
- **点火／消火ボタンをロックする**
  誤って点火／消火ボタンを押すと、やけどの原因になります。
- **お手入れ後は、機器およびグリル庫内にふきん、紙類などを置き忘れていないか必ず確認する**
  火災の原因になります。

お手入れ道具、洗剤について

使ってよい	 スポンジたわし　やわらかい布　やわらかい歯ブラシ　台所用中性洗剤 トッププレート（ガラス表面）のみ  クリームクレンザー　メラミンスポンジ	
使ってはいけない	**キズの原因になるもの** ナイロンたわし　亀の子たわし　金属たわし　スポンジたわし裏面　クレンザー　ミガキ粉　硬い歯ブラシ	※部品、ガラス、ホーローや塗装の表面にキズがつき、はがれ、欠け、変色、変質、さび、割れの原因になります。
	変質の原因になるもの 漂白剤、酸性洗剤、アルカリ性洗剤　シンナー、ベンジン、アルコール　弱酸性洗剤、弱アルカリ性洗剤	※部品、ホーローや塗装の表面が変質し、はがれ、変色、さび、樹脂部品の割れの原因になります。
	キズ、変質の原因になるもの 歯みがき粉　クリームクレンザー　重曹	※表面の変質、キズ、変色、さび、樹脂部品の割れの原因になります。
	故障の原因になるもの スプレー式洗剤	※直接かけて使用すると機器内部に洗剤が入り、故障の原因になります。必ずやわらかい布やスポンジたわしなどに含ませてから使用してください。
	火災の原因になるもの 可燃性スプレー、浸透液、潤滑剤	※引火するので、**絶対に使用しないでください。**

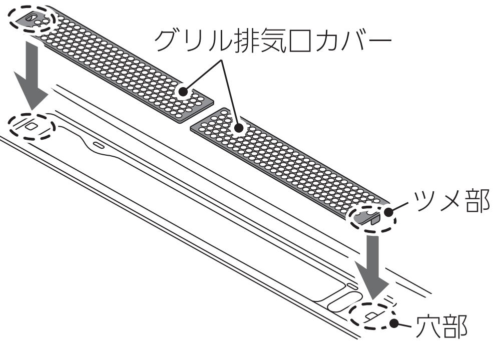
お手入れするときのお願い

・汚れたままにすると汚れがこびり付き、取れにくくなりますので、ご使用の都度お手入れしてください。
煮こぼれをしたまま放置するとお手入れする部品が固着し、外れにくくなったり、故障の原因になります。
※とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。
・バーナーキャップ、ごとく、グリル排気口カバー、グリル部品(グリルとびら、グリル焼網、グリル受け皿)は外せます。それ以外の部品は、絶対に取り外さないでください。

お手入れ（部品の取り外しと取り付け）

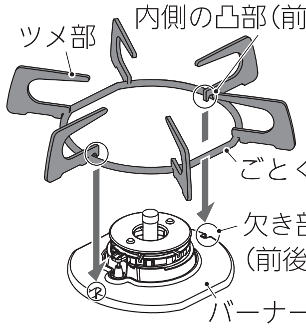
グリル排気口カバー

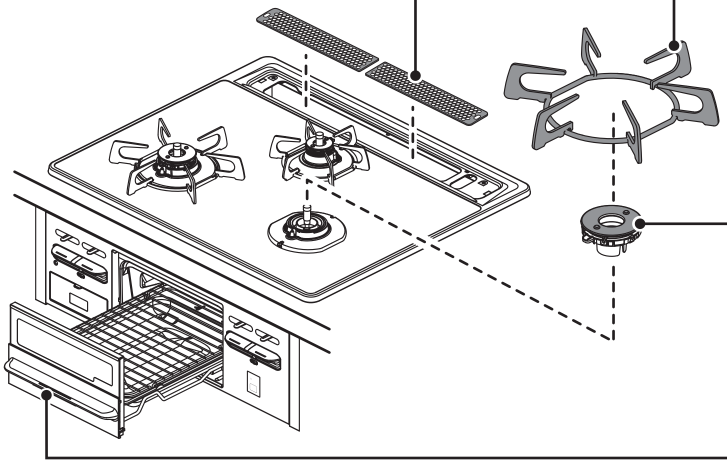
・グリル排気口カバーのツメ部をグリル排気口の穴部に合わせて取り付けてください。
※グリル排気口カバーを正しく取り付けないと、グリル使用時に<u>焼け足りなかったり、焼きムラの原因となります。</u>



ごとく

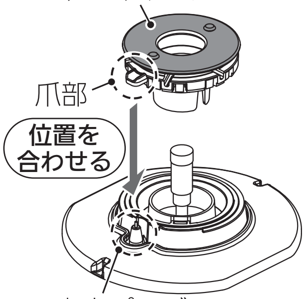
・ごとく内側の凸部（前後2カ所）を、バーナーリングの欠き部（前後2カ所）に入れて、浮きがないように取り付けてください。
※バーナーリングは取り外せません。



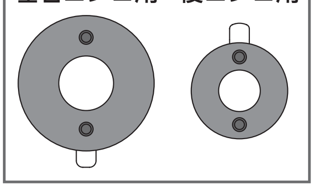


バーナーキャップ

・バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。（点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。）



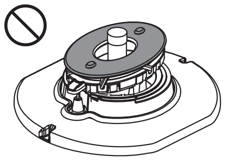
バーナーキャップの形状



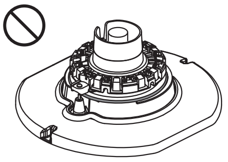
⚠注意

バーナーキャップは正しく取り付ける（必ず守る）

誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、
- 点火しない場合があります。
- 炎のふぞろいや逆火で<u>不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。</u>
- 機器の中に炎がもぐりこんで、<u>焼損する原因になります。</u>
- <u>機器寿命が短くなるおそれがあります。</u>



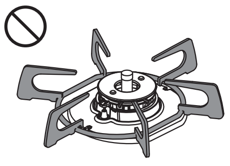
バーナーキャップの浮き



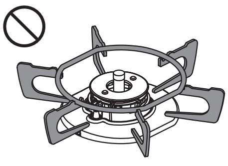
バーナーキャップの裏返し

ごとくは、正しく取り付ける（必ず守る）

誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、<u>鍋の転倒によるやけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。</u>
また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートに<u>キズがつく原因になります。</u>



ごとくの浮き



ごとくの裏返し

お知らせ

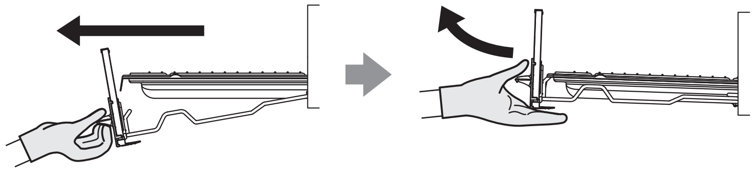
・バーナーキャップ、ごとくは消耗部品です。
バーナーキャップは変形すると炎がふぞろいになります。また、ごとくは、ツメ部がグラグラしていると、鍋などの転倒の原因になりますので、交換してください。
交換部品（消耗品）<有料>として準備しております。（43ページ）
お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。

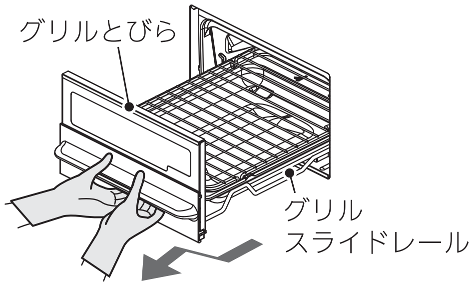
◎お手入れは、
・機器が冷えていることを確認する　・ガス栓を閉める　・点火／消火ボタンをロックする　・手袋をする
◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
◎部品を取り付けたあとは、浮き（傾き）がないことやスムーズに開閉できることを確認する

グリル部

取り外しかた

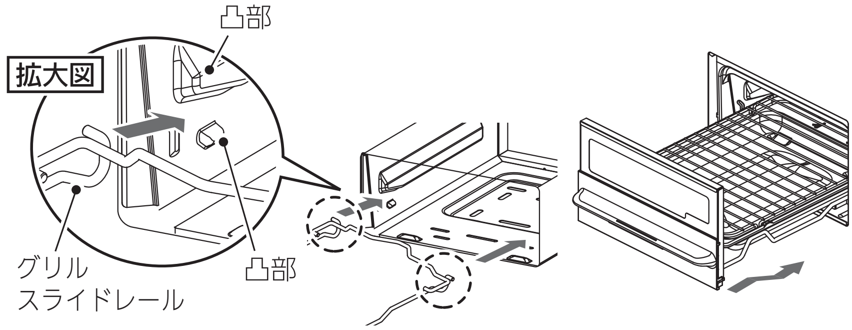
・水平にゆっくりと手前に止まるまで引き出し、グリルとびらを少し持ち上げて、引き出すと取り出せます。
（グリルとびらを持ち上げて引き出すと、止まることなくグリルとびらが外れるため、落下する場合があります。）
※グリルとびらを全開近くまで引き出すと、グリルとびら全体が下がりますので、注意してください。
※グリル受け皿にたまった魚の脂などをこぼさないよう注意してください。





取り付けかた

・グリルとびらを両手で持ち、グリルスライドレールをグリル庫内側面の左右にある凸部の間に合わせて、グリル庫内に入れたあと、水平にスライドさせ、グリルとびらが完全に閉まるまできっちり入れてください。
※イラストは分かりやすくするためにグリル受け皿なしで記載しています。



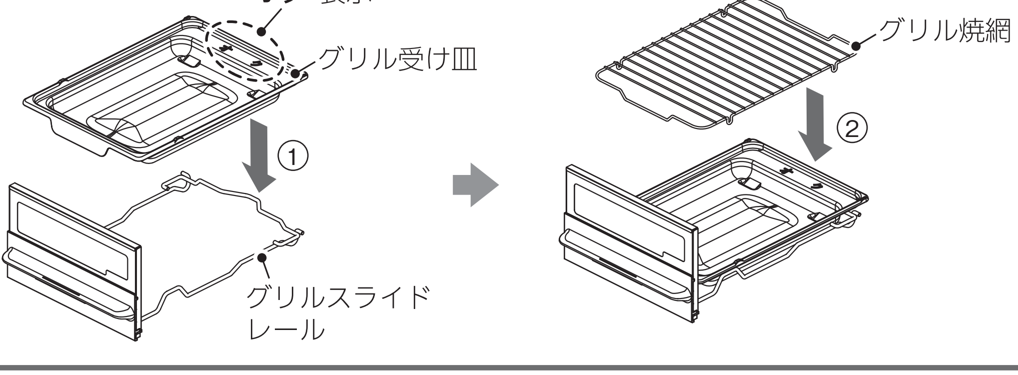
グリル焼網、グリル受け皿

取り外しかた

・グリル焼網、グリル受け皿の順に一つずつ、取り外す。
※グリル受け皿を取り外すときは、グリル受け皿にたまった魚の脂などをこぼさないよう注意してください。

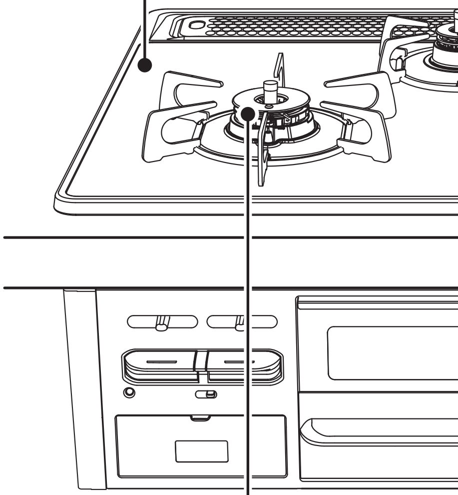
取り付けかた

①グリル受け皿は、“**オク**”刻印を機器側に向け、グリルスライドレールの上に乗せる。
②グリル焼網をグリル受け皿に乗せる。



グリルとびらが閉まりにくい場合やこすれる音がした場合は、グリルとびら、グリル焼網、グリル受け皿が正しく取り付けされていません。
そのまま押し込むと、変形や損傷の原因になりますので、再度きっちりと取り付けてください。

お手入れ

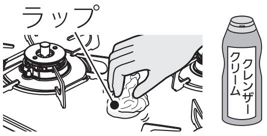


トッププレート

・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
※煮こぼれした場合は、その都度必ずふき取ってください。煮こぼれを放置されますと、バーナーリングのすき間よりトッププレート内部に煮汁が入り、トッププレートの変色の原因になります。

ガラス部の取れにくい汚れのとき

・メラミン樹脂系のスポンジを使用したり、丸めたラップにクリームクレンザーをつけてこすり、ふき取ってください。



※クリームクレンザーは常用しないでください。
また、ガラス部以外には使用しないでください。
（塗装のはがれ、色が薄くなる、光沢がなくなるなどの原因になります。）

お願い

トッププレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。もし、はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。貼り替える場合は、トッププレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。

バーナー部

バーナーキャップ

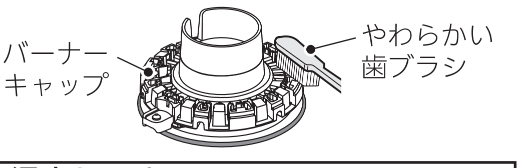
・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
※水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

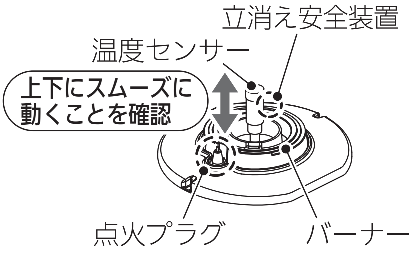
目づまりしたとき

・凹部や溝部は、やわらかい歯ブラシなどでお手入れしてください。
こびり付いた汚れは、つまようじなどで取り除いてください。
※目づまりや汚れは、点火不良や不完全燃焼の原因になります。



バーナー、点火プラグ、立消え安全装置、温度センサー

・水を含ませて、かたくしぼった布で煮こぼれなどの汚れをふき取ったあと、水分が残らないように乾いた布で再度ふき取ってください。
※温度センサーをお手入れするときは、センサーが曲がらないように、片手を添えてください。
※洗剤などは使用しないでください。
※点火プラグ、立消え安全装置、温度センサーはキズつけたり、衝撃をあたえないようにしてください。位置が変わったり、傾くと安心・安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。
※点火プラグ、立消え安全装置の汚れは、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

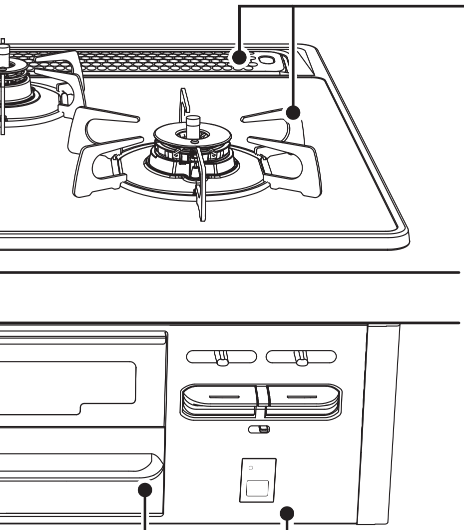


⚠注意

必ず守る

温度センサーは、こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。
密着しない場合、点検、修理を依頼してください。

◎お手入れは、
・機器が冷えていることを確認する　・ガス栓を閉める　・点火／消火ボタンをロックする　・手袋をする
◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
◎部品を取り付けたあとは、浮き（傾き）がないことやスムーズに開閉できることを確認する



ごとく、グリル排気口カバー

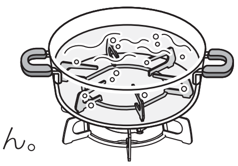
・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
※汚れがついたまま使用すると、汚れが取れにくくなります。

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

それでも汚れが取れないとき

・煮洗いするとさらに汚れが取れやすくなります。
水を入れた大きめの鍋に、ごとくやグリル排気口カバーを入れ、約30分加熱し、冷ましてから水洗いして、水気をふき取ってください。



※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。
※取り出すときは、やけどなどに注意してください。
※ごとく、グリル排気口カバー以外は、煮洗いしないでください。

機器表面、操作部

・乾いた布でよくふいてください。

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

グリルとびら、グリル焼網、グリル受け皿

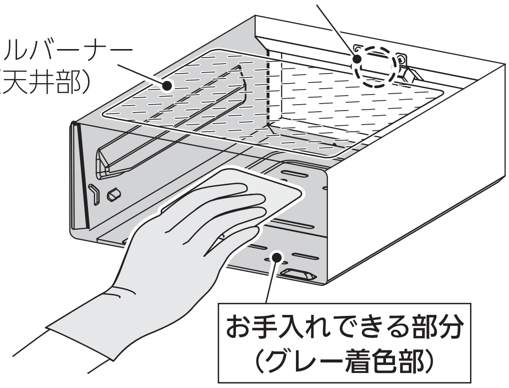
・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
※汚れたまま放置したり、使用したりすると、汚れが取れにくくなり、シミが残ったり、脂汚れで発火することがあります。
※グリルとびら取っ手には、特殊塗装を施していますが、万一表面の塗装がはがれても使用上問題はありません。

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

グリル庫内（側部、底部）

・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
※燃焼部（グリルバーナー）には触らないでください。
炎口がつまり燃焼不良、途中消火の原因になります。
また、グリル過熱防止センサーにも触らないでください。
位置が変わったり、傾くと安心・安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。



よくあるご質問 ①

とくに多いご質問です

ご質問	回答	参照ページ
・点火／消火ボタンを押しても、点火しない ・電池交換サインが点滅している	**乾電池が消耗しているためです。** **新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。** 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。	16
・ブザー音がする	**安心・安全機能がはたらいているためです。** 安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、点火／消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。 戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。 必ず「消火の状態」に戻してください。 ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。	15
・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする	**安心・安全機能がはたらいているためです。** 自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。 ※弱火になると支障のある調理の場合は、高温炒めキーを押すと、高温での調理ができます。	14
・高温炒めモードを使用しているのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする	**安心・安全機能がはたらいているためです。** 鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。 また、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。 ※自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。	21

	ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
全体	点火すると他のバーナーも、スパーク(パチパチ)する	–	1カ所の点火操作ですべてのバーナーでスパークします。異常ではありません。	–
	点火しない ご質問の詳細 ① 点火しない ② 点火しにくい ③ スパーク(パチパチ)しない ④ 点火してもすぐ消える	①②③④	乾電池が消耗しています。新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)に交換してください。	16
			バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	29
			点火／消火ボタンを止まるまでいっぱいに押し、「点火の状態」にしてください。	19・25
			アルミはく製しる受けはご使用できません。使用しないでください。	6
			煮こぼれなどによりバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	31
		①②	ガス栓を閉めていると点火できません。ガス栓を全開にしてください。	18・23
			LPガスをご使用の場合、LPガスがなくなりかけているときは、ご使用のLP事業者にお問い合わせください。	–
			長期間使用していなかったり、朝一番など、ガス配管に空気が残っている場合がありますので、点火操作を繰り返してください。	
		①③	ロックされていると点火できません。ロックを解除してください。	18
		②	グリルはコンロにくらべて点火に時間がかかります。異常ではありません。	–
		④	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで、点火してもすぐ消火します。しばらく(グリルは約3分)待ってから、再度点火してください。	
	すぐに消火しない	–	バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。異常ではありません。	–
	強火になったとき、一瞬炎が大きくなる	–	バーナー内のガスが一度に出されるためです。異常ではありません。	–

よくあるご質問 ②

<table>
<tr><th></th><th>ご質問</th><th>詳細の番号</th><th>回答</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="15">全体</td><td rowspan="11">炎の状態がおかしい
ご質問の詳細
① 炎が安定しない
② 炎が黄色い、赤い
③ 異常音をたてて燃える、消える
④ 炎が均一でない
⑤ 使用中炎が消える
⑥ 鍋にすすがつく</td><td rowspan="2">①②③④⑤⑥</td><td>煮こぼれなどによりバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、炎の状態がおかしくなる場合があります。お手入れしてください。</td><td>31</td></tr>
<tr><td>バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。</td><td>29</td></tr>
<tr><td>①②③④⑤</td><td>風が吹き込んだり、エアコンや扇風機の風などがコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。</td><td>7</td></tr>
<tr><td>②④⑤⑥</td><td>アルミはく製しる受けはご使用できません。
使用しないでください。</td><td>6</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②⑤</td><td>使用中は換気してください。</td><td>7</td></tr>
<tr><td>火力調節つまみをはやく操作すると、炎が赤くなったり、消火する場合があります。異常ではありません。ゆっくり操作してください。</td><td rowspan="4">－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">②</td><td>加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなることがあります。異常ではありません。</td></tr>
<tr><td>グリル使用時にコンロを使用すると、焼きものの塩分（ナトリウム）やカルシウムが燃えて、コンロの炎も赤くなります。異常ではありません。</td></tr>
<tr><td>火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり大きくなる場合があります。異常ではありません。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>弱火の状態で、機器下のキャビネットとびらやグリルとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。</td><td>12</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">部品が変色する
ご質問の詳細
① 表面が変色する
② ごとくが変色する
③ トッププレートに跡が付く</td><td rowspan="2">①②</td><td>酸性やアルカリ性洗剤は使用しないでください。
中性洗剤以外の洗剤をご使用になると、変色する場合があります。</td><td>27</td></tr>
<tr><td>ごとく先端は、炎が当たり、変色したり、ざらざらになります。異常ではありません。ごとくなどは消耗部品です。交換部品として販売しています。</td><td>43</td></tr>
<tr><td>③</td><td>トッププレートのごとくを取り付けている場所に、跡が付くことがありますが、ご使用上問題ありません。</td><td>12</td></tr>
<tr><td>トッププレート表面の模様が薄くなったり、消えたりする</td><td>－</td><td>ごとくとトッププレートが接触している場所では、トッププレート表面のドットや石目などの模様が摩耗することがありますが、ご使用上問題ありません。</td><td>－</td></tr>
</table>

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火／消火ボタンから手を放してもスパーク（パチパチ）する	－	点火／消火ボタンから手を放してもスパークが続きます。（最長約5秒） 異常ではありません。	－
焼網が使えない	－	焼きなすやもちはグリルで調理してください。 グリルに入らない大きななすやパプリカなどは、フォークや金串に刺し高温炒めモードを使用し、コンロ上で直火調理（あぶりもの）してください。	21
コンロ使用時に… ご質問の詳細 ① 調理中に消火する ② 油が高温になっていても自動消火しない ③ 点火してもすぐ消える ④ 自動で火力が変わる ⑤ 鍋底がひどく焦げついて消火する	①②③④⑤	鍋の形状や材質が適しているか確認してください。	17
		鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	9・31
		鍋底や温度センサーが汚れていないか確認し、汚れている場合はお手入れしてください。	
	①③	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。 しばらく待ってから再度点火してください。	14
	①⑤	焦げつき自動消火機能は、鍋の材質や調理により焦げつきの程度がかわります。 ホーロー製の鍋や、カレー、シチュー、カラメル、みそなどの水分が少ない料理は焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。	15
		鍋底が焦げついていないか確認してください。 焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらいて、自動的に消火します。	
	①	点火後約120分（高温で自動的に火力調節している場合は約30分）で自動消火し、消し忘れを防ぎます。	14
		弱火の状態で、機器下のキャビネットとびらやグリルとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	12
		冷凍した調理物をそのまま調理した場合、調理中に消火することがありますので、解凍してから調理してください。	－
		無水鍋や多層鍋、土鍋や耐熱ガラス容器、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき自動消火機能がはたらき、調理中に消火することがあります。	15・17
	④	鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。 弱火と強火を繰り返し、この状態が約30分続くと自動消火します。 弱火になると支障のある調理の場合は、高温炒めキーを押すと、高温での調理ができます。	14・21
	⑤	鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと焦げつきがきつくなる場合があります。ときどきかき混ぜて火加減し、様子を見ながら調理してください。	－

よくあるご質問 ③

区分	ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
グリル	点火／消火ボタンから手を放してもスパーク（パチパチ）する	–	点火／消火ボタンから手を放してもスパークが続きます。（最長約7秒） 異常ではありません。	–
グリル	グリル使用時に… ご質問の詳細 ① 焼けすぎる ② 焼け足りない ③ 焼きムラ ④ 煙が出る ⑤ 調理中に消火する	②③④⑤	グリルとびらは確実に閉めてください。	23
		①②③	調理物の数や形状によって、置きかたを調節してください。	24
		①②③	調理物に合った火力に調節してください。	–
		②③	グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。	29
		①	みそ漬けやかす漬けの魚を焼くときは、みそやかすは取ってから焼いてください。	24
		②	冷凍の魚はしっかりと解凍し、冷蔵の魚は常温でしばらく置いてください。	24
		④	脂の多い魚などを焼くと煙が多く出るため、グリル排気口以外からも煙が出る場合があります。 異常ではありません。	26
		④	初めてグリルを使うときは、煙やにおいが出る場合がありますが、グリル庫内の金属部品に残った加工油によるものです。異常ではありません。	23
		④	グリル庫内やグリル受け皿が汚れていないか確認し、お手入れしてください。 残った調理物などが焦げて、煙やにおいが出る場合があります。	32
		⑤	連続の使用などでグリル庫内が高温になっている場合は、グリル庫内が冷めるまで、しばらく（約3分）待ってから使用してください。	15・26
		⑤	グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かないでください。 グリルバーナーの炎口がつまり、燃焼不良、途中消火の原因になります。	10・24
グリル	グリル使用中に、魚などの脂の「パチパチ、ジュージュー」とはねる音がする	–	魚などに含まれている水分が油と接触して、蒸発する音です。 異常ではありません。	–

	ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
乾電池	使用時に『ピー』というブザー音とともに、電池交換サインが点滅する	–	乾電池が消耗しているためです。乾電池を交換してください。 乾電池を交換する（電池交換サイン点滅）めやすは約1年です。	16
	乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する	–	乾電池に記載されている使用推奨期限を確認してください。未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗していますので、新しいアルカリ乾電池（単1形：2個）に交換してください。	16
におい	ガスのにおいがする いやなにおいがする	–	**すぐに使用をやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。**	5
			風が吹き込んだり、エアコンや扇風機の風などがコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。	7
			煮こぼれや水滴がついていないか確認し、お手入れしてください。また、お手入れしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。	31
			周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがないか確認してください。	6
音	使用中、消火後に音がする ご質問の詳細 ① 消火後に「ピピッ」（5回）とブザー音がする ② 「ポン」と音がする ③ 「カチッ」と音がする ④ キシミ音がする ⑤ 「シャー」と音がする ⑥ 点火初期に「ポッポッ」と音がする	①	点火／消火ボタンを戻し忘れていないか確認してください。点火／消火ボタンを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』（5回）でお知らせします。 ※安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときは、必ず点火／消火ボタンを「消火の状態」にしてください。 戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。 ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。	15
		②	コンロバーナー使用後の火の消えたときの音です。 異常ではありません。	–
			バーナーキャップが正しく取り付けされていないと、音がする場合があります。	29
		③	火力を切り替える動作音です。異常ではありません。	–
		④	点火後や消火後にキシミ音がでますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。 異常ではありません。	
		⑤	コンロバーナー使用中「シャー」と音がしますが、燃焼するガスの通過音です。異常ではありません。	
		⑥	機器が冷えている状態で点火すると、しばらく音がする場合がありますが、温まると音はなくなります。 異常ではありません。	

ブザー報知、お知らせ表示

ブザー音	表　示	部　位	内　　　容
ピピッ（5回）	―	コンロ、グリル	点火／消火ボタン戻し忘れブザーの作動
ピー（1回）	―	コンロ	消し忘れ消火機能の作動
		グリル	消し忘れ消火機能の作動
		右コンロ	高温炒めモード終了
	点滅 電池交換サイン ※電池交換するまで点滅が続きます。	ー	電池交換のお知らせ
ピー（2回）	―	コンロ	立消え安全装置の作動
		グリル	
ピー（3回）	―	コンロ	点火時に着火しなかった
		グリル	
ピー（4回）	―	コンロ、グリル	点火／消火ボタンを長く押し続けている
	―	コンロ	天ぷら油過熱防止機能の作動 焦げつき自動消火機能の作動
		グリル	グリル過熱防止センサーの作動
ピー（約10秒間繰り返し）	―	コンロ、グリル	操作部、温度センサー、 グリル過熱防止センサーの故障
ブザーが鳴り続ける ピー（約10秒間）	―	コンロ、グリル	電子部品の故障

原　　因	処置と再使用時の注意	参照ページ
安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときなどで、点火／消火ボタンが「点火の状態」のままになっている。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。	15
点火後、約120分連続使用した場合など。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 コンロを続けて使用する場合は、再度点火してください。 グリルを続けて使用する場合、しばらく（約3分）待ってから再度点火してください。	14
点火後、約25分連続使用した場合など。		
設定後、約60分連続使用した場合など。		
乾電池の容量が少なくなってきたとき。	乾電池を交換してください。	16
炎のふき消え、煮こぼれした場合など。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、再度点火してください。	14
炎のふき消えなど。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合、しばらく（約3分）待ってから再度点火してください。	
煮こぼれによる炎口つまり、煮こぼれによる点火プラグの汚れなど。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 バーナーキャップ、点火プラグなどが汚れていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	31
着火不良など。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合、しばらく（約3分）待ってから再度点火してください。	－
点火／消火ボタンを長く押し続けたとき。	手を離してください。 点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。	－
調理油の過熱、焦げつき、消し忘れによる過熱、空焼きなど。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、再度点火してください。	14・15
グリルの空焼き、消し忘れ、調理物が少ない場合、連続して使用した場合など。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 消火してすぐ（グリル過熱防止センサーが高温のままの状態）は、点火してもすぐに消火します。 しばらく（約3分）待ってから再度点火してください。	15
部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ（点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻し）、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。	－

上記の処置方法で直らないときは、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）に連絡してください。

長期間使用しない場合、仕様

長期間使用しない場合

- ガス栓を閉め、乾電池を取り出してください。
  乾電池を入れたままにすると、乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。
- 機器が冷えていることを確認し、各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
- 再度使用される場合は、ビニールなどを完全に取り外し、乾電池を入れてから使用してください。

仕様

品名	ガスビルトインコンロ	
型式名	DG32N3V	DG32N3SR
点火方式	連続スパーク点火	
安心・安全機能	・立消え安全装置 ・点火／消火ボタン戻し忘れブザー ・ロック機能 }（全バーナー） ・コンロ消し忘れ消火機能 ・調理油過熱防止装置（天ぷら油過熱防止機能） ・焦げつき自動消火機能 }（コンロバーナー） ・グリル消し忘れ消火機能 ・グリル過熱防止センサー }（グリルバーナー）	
付属品	・取扱説明書（保証書付）・工事説明書　・アルカリ乾電池（単1形：2個）	
外形寸法	高さ272mm×幅596mm×奥行492mm（トッププレート幅593mm）	
質量	17.5kg	

<DG32N3Vタイプ>

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量kW				ガス接続
		個別ガス消費量			全点火時ガス消費量	
		左右コンロ	後コンロ	グリル		
都市ガス用	13A	4.20 {3,610kcal/h}	1.28 {1,100kcal/h}	1.28 {1,100kcal/h}	9.88 {8,500kcal/h}	Rc1/2 （メネジ）
	12A	3.90 {3,350kcal/h}	1.20 {1,030kcal/h}	1.20 {1,030kcal/h}	9.21 {7,920kcal/h}	
LPガス用		4.20 {0.301kg/h}	1.28 {0.092kg/h}	1.28 {0.092kg/h}	9.88 {0.708kg/h}	

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

<DG32N3SRタイプ>

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量kW					ガス接続
		個別ガス消費量				全点火時ガス消費量	
		右コンロ	左コンロ	後コンロ	グリル		
都市ガス用	13A	4.20 {3,610kcal/h}	2.97 {2,550kcal/h}	1.28 {1,100kcal/h}	1.28 {1,100kcal/h}	8.72 {7,500kcal/h}	Rc1/2 （メネジ）
	12A	3.90 {3,350kcal/h}	2.79 {2,400kcal/h}	1.20 {1,030kcal/h}	1.20 {1,030kcal/h}	8.13 {6,990kcal/h}	
LPガス用		4.20 {0.301kg/h}	2.97 {0.213kg/h}	1.28 {0.092kg/h}	1.28 {0.092kg/h}	8.58 {0.615kg/h}	

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス、別売部品

アフターサービス

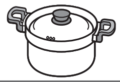
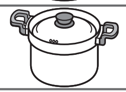
サービスのお申し込み
・『よくあるご質問』（33ページ）、『ブザー報知、お知らせ表示』（39ページ）を見て、もう一度確認してください。 ・確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い上げの販売店または、ガス事業者（供給業者）または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。 なお、連絡されるときは、右記のことをお知らせください。 1. 品名　ガスビルトインコンロ 2. 型式名・品名コード：電池ケースふた裏面に貼付の銘板をご覧ください。（13ページ） 3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく） 4. ご住所、お名前、電話番号、道順（できるだけ詳しく）
転居される場合
ガスには都市ガス（数種類）およびＬＰガスの区分があります。 ・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店または、転居先のガス事業者（供給業者）にお問い合わせください。 この場合、調整、改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。 ・この機器は13A（12A）もしくは、LPガス仕様にのみ調整、改造できます。
保証書
取扱説明書の46ページが保証書になっています。 ・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間、一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。 ・無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理いたします。
補修用性能部品の保有期間
・この製品の補修用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の保有期限は、製造打ち切り後5年間です。 ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

別売部品

・下記の別売部品（有料）は、お客さまご自身にてご購入していただくことができます。お求めの場合は、インターネットの販売サイト（http://ec.harman.co.jp/）、弊社（裏表紙連絡先参照）、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご存じですか？　簡単！　手軽に
交換部品や便利グッズがご購入できます。
詳しくは ▶▶▶ **http://ec.harman.co.jp/**

＊1の部品については、お買い上げの販売店では取り扱っていません。
＊2の部品については、インターネットの販売サイトでは取り扱っていません。

名　称	形　状	本体価格（税別）	部品コード
ガラストップクリーナー	（1本）＊1	￥　850	LP 0125A＊1（1本）
	（6本セット）＊2	￥5,100	LP 0125＊2（6本セット）
炊飯専用鍋（3合）		￥4,200	LP 0134
炊飯専用鍋（5合）		￥5,200	LP 0135

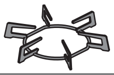
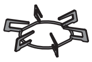
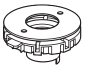
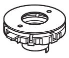
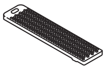
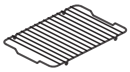
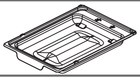
・2014年2月現在の価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
※上記本体価格には、消費税、配送費は含まれておりません。ご購入の際は別途消費税、配送費が必要となります。
詳しくは、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。

交換部品（消耗品）＜お客さまにて取り替え可能な部品＞

・下記の交換部品（消耗品）＜有料＞は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの場合は、インターネットの販売サイト（http://ec.harman.co.jp/）、弊社（裏表紙連絡先参照）、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご存じですか？ 簡単！ 手軽に
交換部品や便利グッズがご購入できます。
詳しくは ▶▶▶ **http://ec.harman.co.jp/**

部品がいたんだり、汚れが落ちにくくなってきたら、お早めに交換してください。

名　称	形　状	本体価格（税別）	部品コード
ごとく（大） （左右コンロ用）		￥1,700	LG0F120030207
ごとく（小） （後コンロ用）		￥1,600	DG3C120470104
バーナーキャップ （左右コンロ用）		￥1,500	DG3C32003106
バーナーキャップ （後コンロ用）		￥1,000	DG3C32006107
グリル排気口カバー		￥　750	DW3C120050109
グリル焼網		￥　600	DG3C33010109
グリル受け皿		￥1,200	DG3C33009107

・2014年2月現在の価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
※上記本体価格には、消費税、配送費は含まれておりません。ご購入の際は別途消費税、配送費が必要となります。
　詳しくは、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。
　乾電池は電気店などでお買い求めください。
・交換部品（消耗品）の詳細は『各部のなまえ』（3～4ページ）を参照してください。

memo

memo

保証書

保　証　書

品　　　　名	ガスビルトインコンロ

このたびは当社製品をお買上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、弊社窓口が無料修理致します。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社にご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   - （イ）　住宅用途以外（業務用：喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合による故障および損傷。
   - （ロ）　車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
   - （ハ）　工事説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
   - （ニ）　お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
   - （ホ）　建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する機器の不具合および塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
   - （ヘ）　適切な使用、維持管理を行わなかった場合および不当な修理や改造による故障および損傷。
   - （ト）　ガスの供給事情による故障および損傷。
   - （チ）　指定規格以外のガス（ガスグループ）および電気（指定外の電池含む）で使用された場合。
   - （リ）　火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・風水害・煤煙・異常気象などの天災・地変および戦争・暴動など破壊行為による故障および損傷。
   - （ヌ）　海岸付近・温泉地などの地域における塩害・腐食性の有害ガスおよびほこりなどの空気環境に起因する故障および損傷。
   - （ル）　ねずみ・鳥・くも・ゴキブリなどの動物の侵入および行為に起因する故障および損傷。
   - （ヲ）　消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
   - （ワ）　本書の提示がない場合。
   - （カ）　本書に保証期間、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

お　　客　　様	お　名　前	TEL
	ご　住　所〒	
保　証　期　間	お買い上げ　　　年　　　月　　　日から１年間	
販　　売　　店	店　　　名	TEL
	住　　　所〒	

※保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

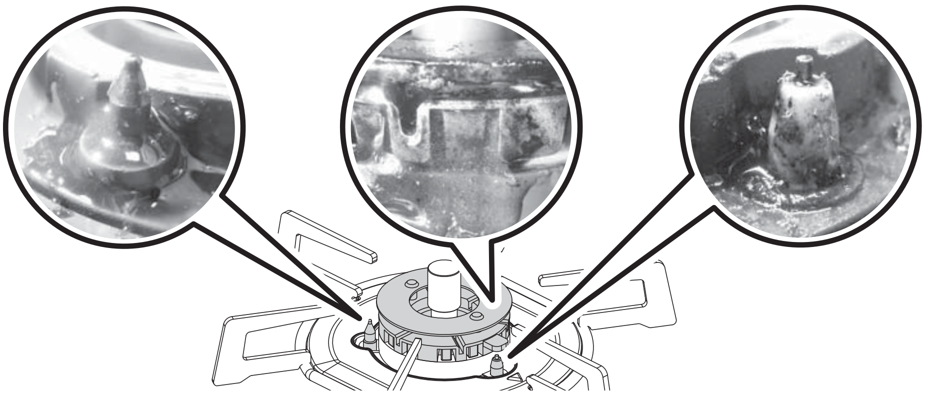
株式会社ハーマン
〒554-0023
大阪市此花区春日出南3ー2ー10

年　　月　　日	修　理　記　録　（　修　理　内　容　）	サービス員㊞

修理を依頼される前に

点火しないとき･･･　下記の部品が汚れていませんか？

立消え安全装置　バーナーキャップ　点火プラグ



部品	お手入れ
バーナーキャップ	水洗い後、水気や汚れをふき取ってください。
立消え安全装置、点火プラグ	煮こぼれなどの汚れをふき取ってください。

水分は確実にふき取ってください。

※詳しくは、「お手入れ」(31ページ)を参照してください。

安全点検

長年ご使用のガス機器の点検をぜひ！

- ときどきガスくさい。
- 焦げくさいにおいがする。
- キーやボタンの操作が不確実。
- コンロ部、グリル部が点火しにくい。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、ガス栓を閉め、故障や事故防止のため、必ず販売店に点検、修理を相談してください。

修理 点検 商品についてのお問い合わせは･･･

株式会社ハーマン コンタクトセンター　0120-38-8180　通話料金無料

携帯電話からのお問い合わせは･･･　**0570-064-780**　(通話料がかかります)

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって下記の番号をお選びください。

1 修理の受付・故障に関するお問い合わせ	2 有償点検・所有者情報に関するお問い合わせ	3 商品に関するお問い合わせ・その他	4 交換部品(消耗品)に関するお問い合わせ
■ 修理受付センター	■ 点検受付センター	■ お客さま相談センター	
【受付時間】	【受付時間】	【受付時間】※年末年始を除く	【受付時間】
365日24時間 修理受付	※土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く	〈　月～金　〉9：00～18：00	※日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く
※修理訪問は日中、地域により休日有り	〈月～金〉　9：00～17：30	〈土・日・祝〉9：00～17：00	〈月～土〉　9：00～17：00
FAX (078)928-5499		FAX (078)927-5070	FAX (078)928-2311

個人情報の取り扱いについて

■ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。
なお、個人を特定できない情報に加工し、サービス向上や製品開発等に利用させていただきます。
■ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。
■ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。
(1)修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合
(2)機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合
(3)法令等に基づく場合

(1307)